

— NSD6000TVI-H —

注意：本内容は予告なしに変更されることがあります。

 CAUTION RISK OF ELECTRIC SHOCK DO NOT OPEN  CAUTION: TO REDUCE THE RISK OF ELECTRIC SHOCK, DO NOT REMOVE COVER (OR BACK). NO USER SERVICEABLE PARTS INSIDE. REFER SERVICING TO QUALIFIED SERVICE PERSONNEL.	警告 火災や感電の危険を軽減するため、この装置を雨や湿気から避けてください。 注意： この装置は、FCC 規則の第 15 章に基づき、テストされ、デジタル装置クラスの制限事項に準拠しています。これらの制限は、商業環境で動作させた場合、有害な干渉を防止し、適切な保護をするように設計されています。この装置は、取扱説明書に従って設置、使用しなかった場合、無線周波エネルギーを発生、使用、放射する可能性があり、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。住宅地でのこの装置の運用は、有害な干渉が発生する可能性があります。その場合、使用者は自己負担で干渉を修正する必要があります。
 このマークは、製品の筐体内の保護されていない“危険な電圧”があり、感電する危険を引き起こす十分な強さがあることを使用者に警告するものです。	
 このマークは、装置に関する重要な操作、メンテナンス(サービス)を使用者に警告するものです。	



古い電気電子機器の廃棄
(欧州連合や他のヨーロッパ諸国との分別収集システムの適用)

製品または製品のパッケージのこのマークは、本製品は家庭廃棄物として処理してはならないことを示しています。電気・電子機器のリサイクルのために適切な収集箇所で引き渡さなければなりません。本製品を確実に正しく処分することにより、環境と人体への潜在的な負の影響を防ぐことができます。この製品の不適切な廃棄物処理が原因で環境や人体へ悪影響を及ぼす可能性があります。資源の再利用は、天然資源の保護に役立ちます。この製品のリサイクルについての詳細は、お近くの市役所、家庭廃棄物処理サービス、または製品を購入された販売店にお問い合わせください。

注意： 急なサージや落雷があった場合、DVR の IC が損傷し、画面にゴーストや崩れた画像が生じる事があります。

目次

Chapter 1	ライブ画面の操作	5
Chapter 2	メインメニューの設定	9
2-1	オートシーケンス	13
2-2	バックアップ	14
2-2.1	選択	14
2-2.2	バックアップ機器の選択	15
2-3	設定	16
2-4	日付検索	17
2-5	システムログ	21
2-5.1	検索基準	22
2-6	PTZ の操作	23
2-7	ズーム	25
2-8	ショートカットツールバー	26
Chapter 3	設定メニュー	29
3-1	録画設定	29
3-1.1	常時録画	30
3-1.1.1	ビデオの設定	31
3-1.1.2	イベント録画	32
3-1.2	スケジュール録画	33
3-1.2.1	設定	34
3-1.2.2	祝日設定	34
3-2	イベント設定	35
3-2.1	ビデオロス	35
3-2.1.1	設定	35
3-2.1.2	イベント設定(処理)	35
3-2.1.3	受信者設定	36
3-2.2	モーション検知	36
3-2.2.1	設定	36
3-2.2.1.1	モーション領域の設定	37
3-2.2.2	イベント設定(処理)	38
3-2.2.3	受信者設定	38
3-2.3	センサー	38
3-2.3.1	設定	38
3-2.3.2	イベント設定(処理)	38
3-2.3.3	受信者設定	38
3-2.4	システム	39
3-2.4.1	受信者設定	39
3-3	カメラ設定	40
3-3.1	PTZ の 設 定	41
3-3.2	高等な設定	41
3-3.2.1	エンコーダー設定	42
3-3.2.2	イメージ設定	42
3-3.2.3	モーションエリア設定	43
3-3.2.4	プライバシーマスク設定	44
3-4	アカウント設定	45
3-4.1	管理者設定	45
3-4.2	他のユーザー	46
3-4.2.1	権限(許可)	46
3-5	ネットワーク設定	47
3-5.1	ネットワーク設定	48
3-5.1.1	DHCP の設定	48
3-5.1.2	固定 IP の設定	48
3-5.1.3	PPPoE の設定	49
3-5.1.4	3G の設定	49
3-5.1.5	バンド(帯域)幅制限	50

3-5.2 HTTP の設定	51
3-5.3 DDNS の設定	51
3-5.4 NTP の設定	52
3-5.5 メール の設定	53
3-5.6 FTP の設定	54
3-6 ストレージ の設定	55
3-6.1 HDD の設定	55
3-6.2 USB メモリー の設定	56
3-6.3 DVD-RW の設定	56
3-7 システム の設定	57
3-7.1 オートロック	58
3-7.2 自動再起動	58
3-7.3 日付/時間の設定	59
3-7.3.1 タイムゾーン	59
3-7.3.2 サマータイム の設定	59
3-7.3.3 日付/時間の変更	60
3-7.4 モニターの設定	61
3-7.5 入力 の設定	63
3-7.5.1 リモコン の設定	63
3-7.5.2 フロントパネル の設定	64
3-7.5.3 マウスの設定	64
3-7.5.5 タッチパネル の設定	65
3-7.6 ユーティリティ の設定	66
3-7.6.1 設定の書き出し	67
3-7.6.2 設定読み込み	68
3-7.6.3 設定リセット	69
3-7.6.4 ログ書き出し	69
3-7.6.5 ログ消去	70
3-7.6.6 ファームウェアアップグレード	71
3-8 システム情報	72
3-8.1 DVR の情報	72
3-8.2 ネットワーク の情報	72
3-8.3 HDD の情報	72
3-8.4 S.M.A.R.T 情報	73
リモートソフトウェアのインストールと設定	74
3-9 アプリケーションソフトウェア接続	74
3-10 IE 接続	77
3-11 アプリケーションソフトウェアとIE 接続の操作	79
3-12 モバイルデバイスの接続	80

注意:

以下の画像や図のチャンネル、センサー、リレー、分割画面、解像度の数字は参考用です。実際に出力される画面はモデルによって異なる場合があります。

Chapter 1 ライブ画面の操作

ライブモードでは、DVR のすべてのチャンネルを監視し、カメラからの音声を聞き、DVR の設定をすることができます。DVR の画面レイアウトのアスペクト比は、4:3 と 16:9 に対応しています。ユーザーログアウト、システム情報、アスペクト比の変更、DVR ウィンドウの全画面表示、ネットワークストリーム品質の設定は、画面の上部のショートカットツールバーにあります。16:9 モードの場合、主要な 2 つのパネル、設定メニューパネルとビデオチャンネルのチャンネルパネルがあります。4:3 モードの場合、右クリックして画面分割の設定パネル、マウスを画面の下部に移動するとチャンネル状態が表示されます。

HD シリーズ:



16:9 表示 - 操作画面



4:3 表示 - 操作画面

HHD シリーズ:



16:9 表示 - 操作画面



4:3 表示 - 操作画面

960H シリーズ:



16:9 表示 - 操作画面



4:3 表示 - 操作画面

Table 1-1 ライブモードのアイコン説明

アイコン	説明
	チャンネルの録画が有効化
	チャンネルの音声の有効化
	チャンネルの音声が無効化
	チャンネルの映像信号の有効化
	チャンネルのイベント録画は、このチャンネルで有効
	チャンネルのモーション検知が発生
	アラームは、そのチャンネルでトリガーされました。 利用可能なアラームの数はモデルによって異なります。
	アラームは、そのチャンネルでトリガーされていません。
	チャンネルのチャンネルビデオロスのアラームがトリガーされました
	USB デバイスが検出されました
	DVD デバイスが検出されました
	ネットワーク接続が利用可能です
	ネットワーク接続が利用できません
	現在のユーザーを表示します
	現在のディスクの空き容量を表示 (図は、ディスク容量の 99%が使用されており、1%が利用可能です) 現在のディスクの温度を表示
	各チャンネルは、ローカル再生、リモートライブ、リモート再生、バックアップビデオのタイムスタンプを表示します。

Chapter 2 メインメニューの設定

メインメニューで DVR を設定するには、ログインアカウントとパスワードが必要です。
管理者のデフォルトのパスワードは“123456”です。他のログインユーザーを管理するには、“アカウント設定”をご確認ください。

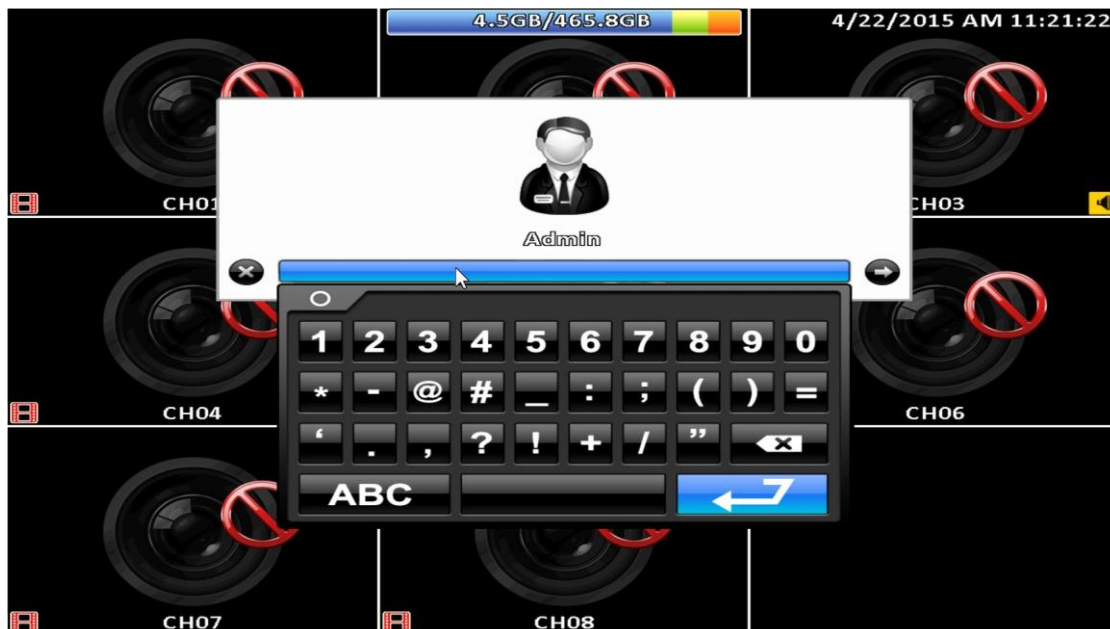


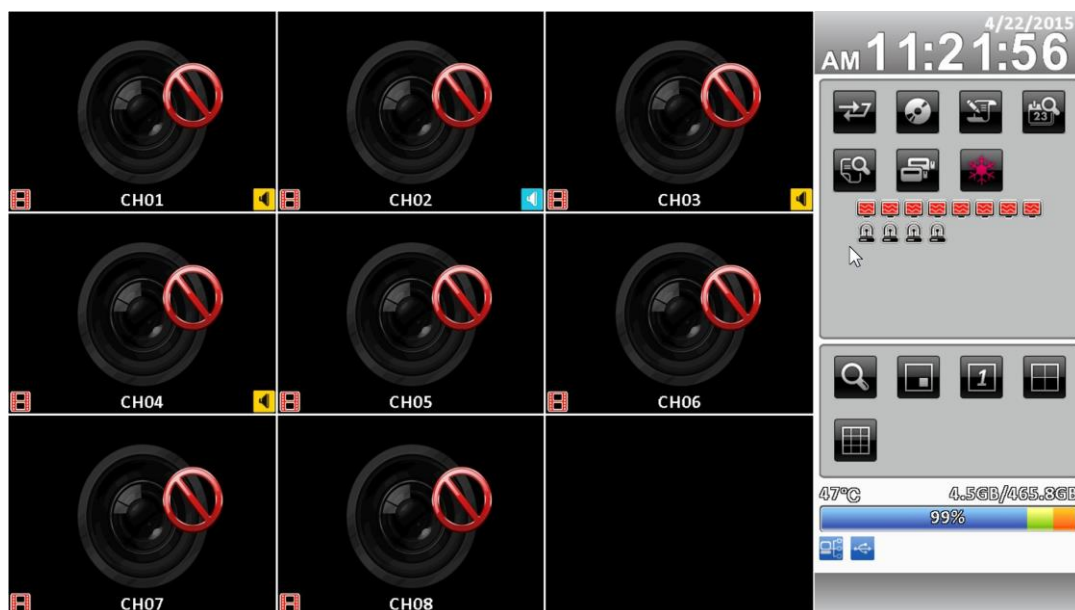
Table 2-1 仮想キーボードのキーの定義

アイコン	説明
 / 	大文字と小文字を切り替え
 / 	数字と文字の間の切り替え
	最後の文字を削除
	パスワードを入力します。パスワードが認証された場合、DVR の設定メニューが表示されます。
	スペース(空白)キー

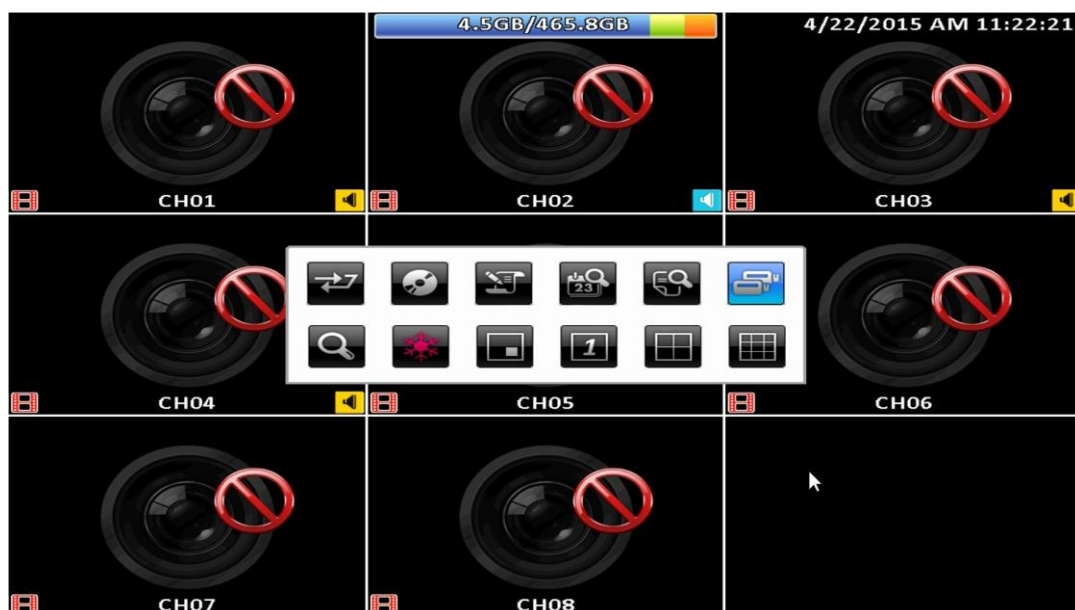
Table 2-2 メインメニューモードでリモコンの使用可能なキー

項目	説明
◀ ▶	項目の前または次のオプションに切り替え
▲ ▼	異なる項目に切り替え
MENU	設定を保存とライブモードへ戻る
ESC	保存せずにメニューの上位レベルへ戻る
ENTER	メニューに入る、または仮想キーボードを表示

ライブモードの設定画面に DVR のさまざまな機能を操作するアイコンがあります。設定画面は、16:9 モードでは左側または右側に、4:3 モードでは右クリックすると表示されます。



16:9 表示では、メインメニューは、画面の右側に表示されます。



4:3 表示では、メインメニューは画面上で右クリックして表示されます。¹

¹ アイコンは、モデルによって若干異なる場合があります

Table 2- 3 アイコンの説明

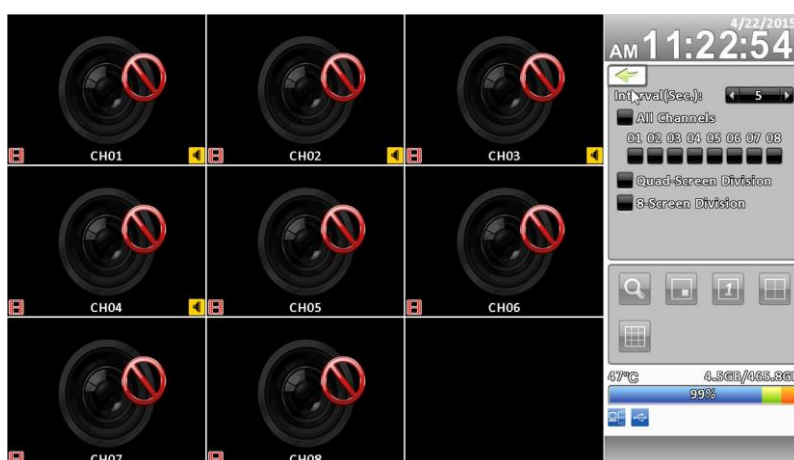
アイコン	説明
	オートシーケンスのメニュー
	DVR HDD から映像データをバックアップする為のバックアップメニュー
	録画設定、イベント設定、カメラ設定、アカウント設定、ネットワーク設定、ストレージ設定、システム設定、システム情報にアクセスするためメニュー
	録画したビデオの特定の時間を選択する為の日付検索メニュー
	PTZ モードの設定
	ズームイン機能の設定。DVR は、2 倍～8 倍のデジタルズームに対応しています。
	映像停止の機能の設定

	PIP の有効/無効 *2
	1 画面へ切り替え
	4 分割画面へ切り替え
	9 分割画面へ切り替え
	13 分割画面へ切り替え
	16 分割画面へ切り替え

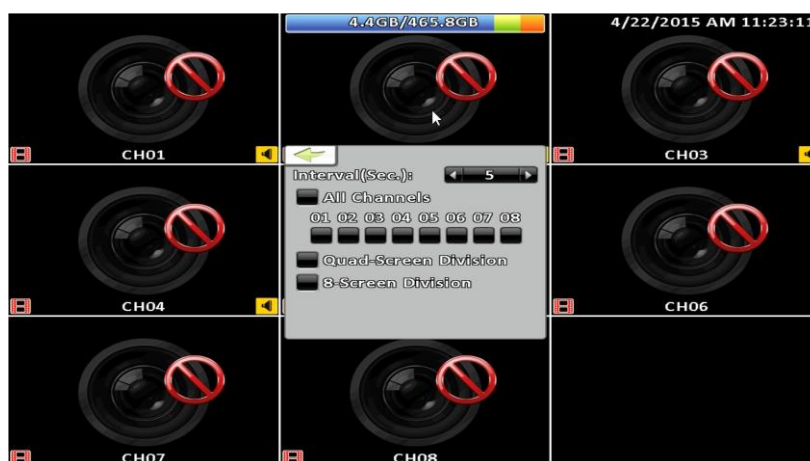
*1. フォーカスモードは対応していません。

*2. PIP に対応していないモデルもあります。

2-1 オートシーケンス



16:9 表示



4:3 表示

項目	説明
間隔	各チャンネル表示の間の時間間隔
全チャンネル	DVR は指定された間隔で自動的にチャンネルを切り替えます。DVR は、1 画面表示モードの各チャンネルを表示します。
4 分割画面	DVR は指定された間隔で自動的にチャンネルを切り替えます。DVR は 4 分割モードでチャンネルを表示します。
9 分割画面	DVR は指定された間隔で自動的にチャンネルを切り替えます。DVR は 9 分割モードでチャンネルを表示します。
10 分割画面	DVR は指定された間隔で自動的にチャンネルを切り替えます。DVR は 10 分割モードでチャンネルを表示します。
16 分割画面	DVR は指定された間隔で自動的にチャンネルを切り替えます。DVR は 16 分割モードでチャンネルを表示します。
20 分割画面	DVR は指定された間隔で自動的にチャンネルを切り替えます。DVR は 20 分割モードでチャンネルを表示します。
32 分割画面	DVR は指定された間隔で自動的にチャンネルを切り替えます。DVR は 32 分割モードでチャンネルを表示します。

2-2 バックアップ

指定された時間の録画ビデオデータをバックアップすることができます。DVR は、USB メモリや DVD のストレージを直接接続、または PC のリモートフォルダにビデオデータをバックアップすることができます。

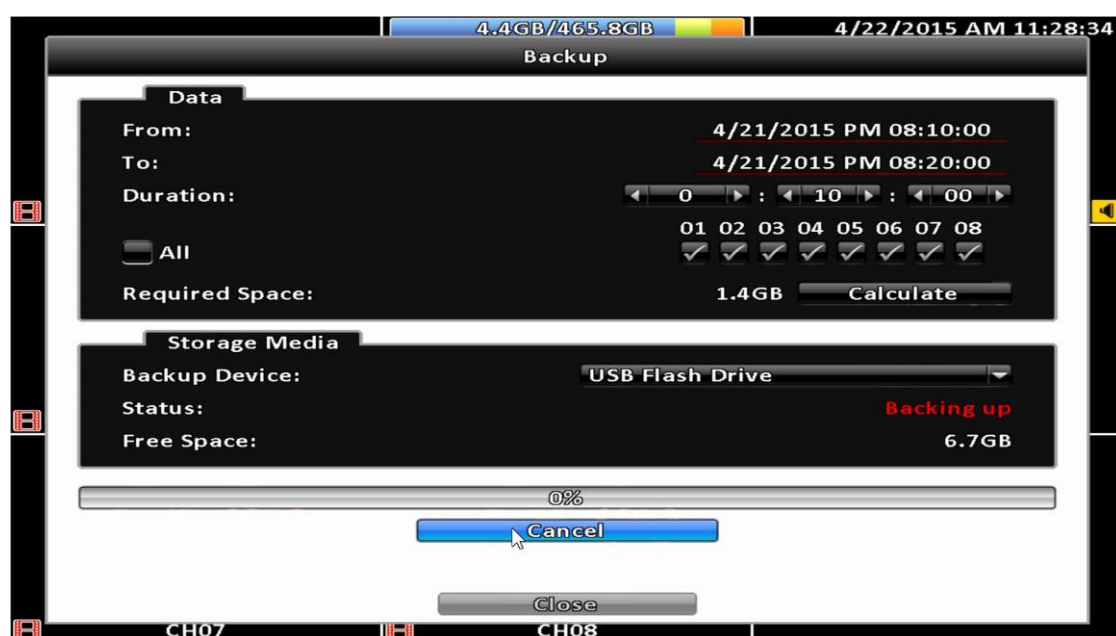
2-2.1 選択

項目	説明
開始時間	ビデオデータのバックアップの開始時間
終了時間	ビデオデータのバックアップの終了時間
期間	バックアップファイルの期間
全て	すべてのチャンネルを選択、すべてのチャンネルをクリア
必要な容量	バックアップファイルのサイズを表示

The interface consists of two main panels. The top panel is titled 'Backup' and shows the 'Data' tab. It includes fields for 'From:', 'To:', and 'Duration:'. A date picker is open, showing 'April' and '2015', with the date '4/22/2015 AM 12:10:00' selected. Below this is a 'Storage Media' section with 'Backup Device:' and 'Free Space:'. The bottom panel also shows the 'Backup' interface, but with the 'Storage Media' tab selected. It shows 'Backup Device:' as 'USB Flash Drive' with a status of 'Ready' and 'Free Space:' as '6.7GB'. There is a 'Calculate' button next to 'Required Space:' and a 'Backup' button at the bottom.

2-2.2 バックアップ機器の選択

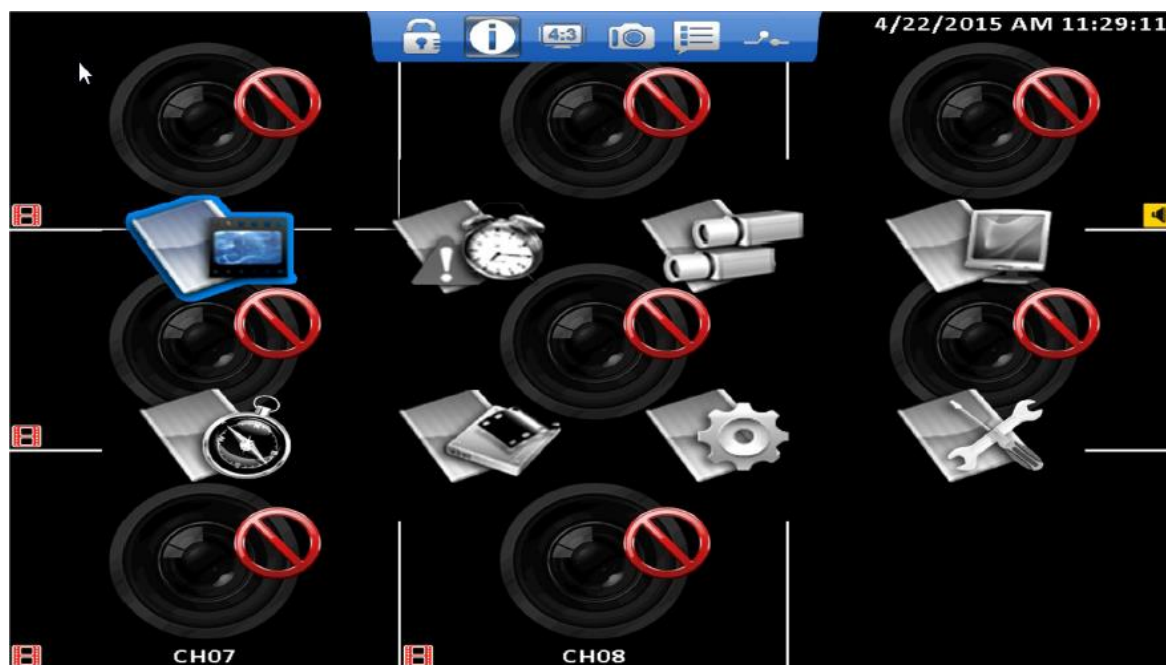
項目	説明
バックアップ装置	バックアップ対象機器の選択 (USB/DVD-RW/リモートフォルダー)
ステータス	対象のバックアップ機器の状態
空き容量	対象のバックアップ機器で利用可能な容量(リモートフォルダのバックアップには使用できません)
バックアップ	バックアップを開始します。 バックアップを操作する前に、バックアップファイルのサイズを計算してください。



バックアップ処理中に USB 機器を抜いたり、DVR の電源を切らないでください。エラーが発生します。

2-3 設定

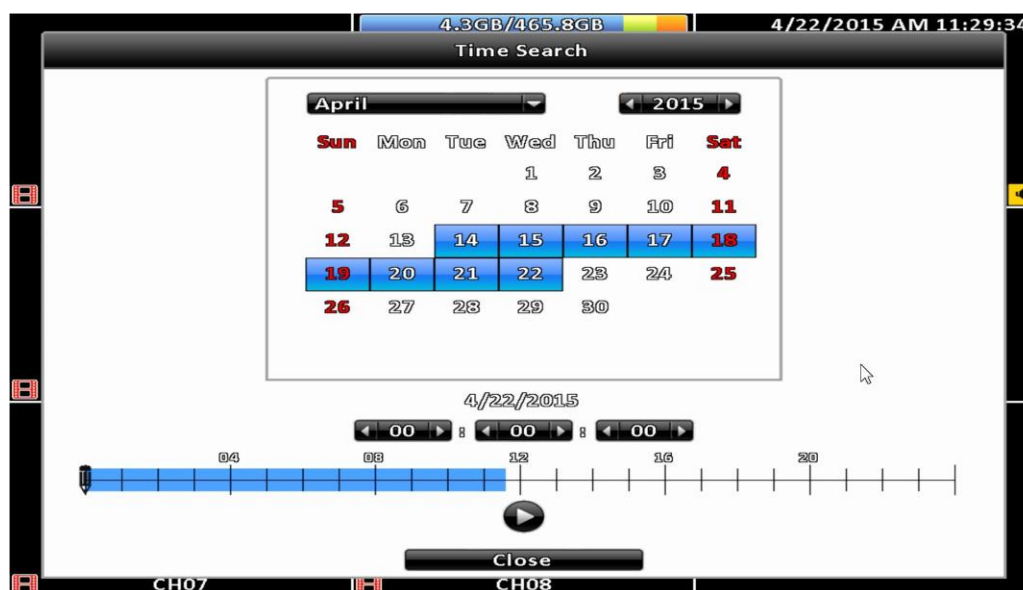
録画設定、イベント設定、カメラ設定、アカウント設定、ネットワーク設定、ストレージ設定、システム設定、システム情報は、設定メニューを開きます。詳細については、第3章を参照してください。



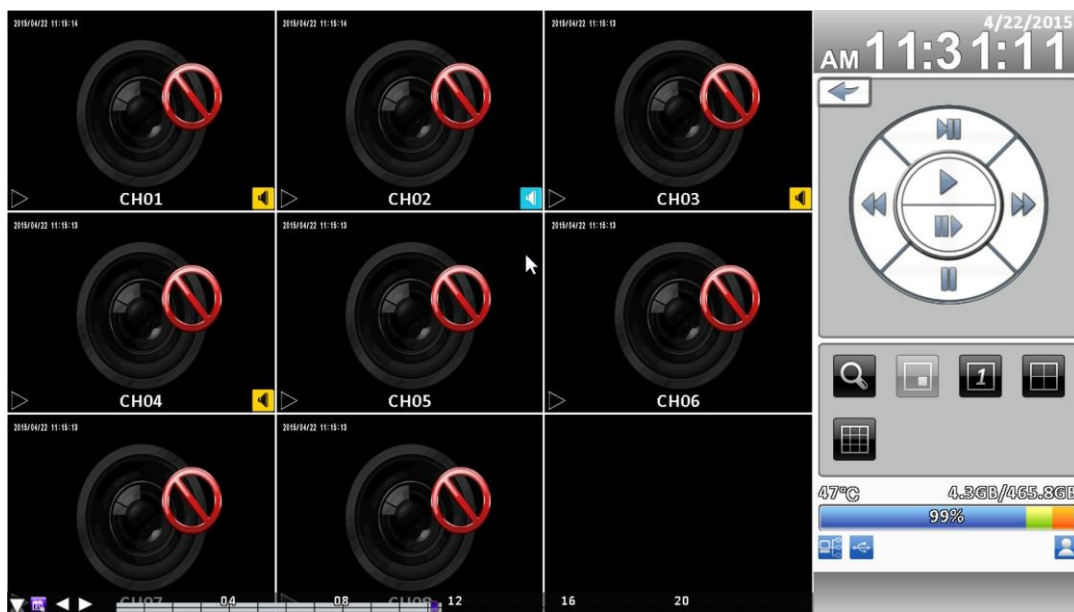
2-4 日付検索

日付検索は、録画されたデータの特定の時間を検索し、再生することができます。録画データは日付に青色の四角で表示されます。指定されたスロットの時間のビデオを再生します。カレンダーは、マウスで“年”と“月”をクリックして表示します。

“日付”をクリックして、タイムバーに特定の日付の録画時間を表示します。時間(時/分/秒)、または、タイムバーの特定のところをクリックして時間を変更し、再生ボタンを押します。DVR は、特定の時間の録画されたデータを再生します。



項目	説明
	再生ボタン、再生を開始します。
	指定の時間にカーソルの位置をスライドさせて、再生時間を選択します。タイムラインの単位は 24 時間です。青いグラフは、利用可能なビデオデータを表しています。



再生設定

16:9 表示



4:3 表示

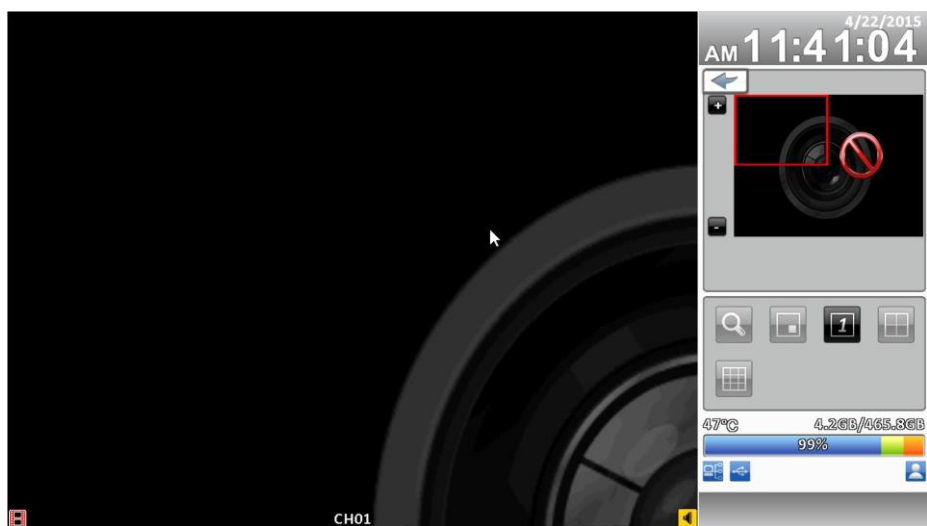
Table 2-4 再生モードでのリモートコントロール機能の使用可能なキー

ボタン	説明
ENTER/ MODE	全画面、またはマルチ分割表示の切り替え
MENU / ■	一時停止
PLAY	通常で再生
▲ / SLOW	遅い速度で再生します。ボタンを押すごとによって速度が最も遅い速度まで再生速度が減速されます。(1/2、1/4、1/8)
◀◀ / ◀	早戻し。押すたびに次のレベルへの巻き戻し速度が早くなります。2 倍、4 倍、8 倍、16 倍、32 倍、64 倍の 6 つのスピードがあります。
▶▶ / ▶	早送り。押すたびに次のレベルへの早送り速度が早くなります。2 倍、4 倍、8 倍、16 倍、32 倍、64 倍の 6 つのスピードがあります。
▼ / ■	再生停止

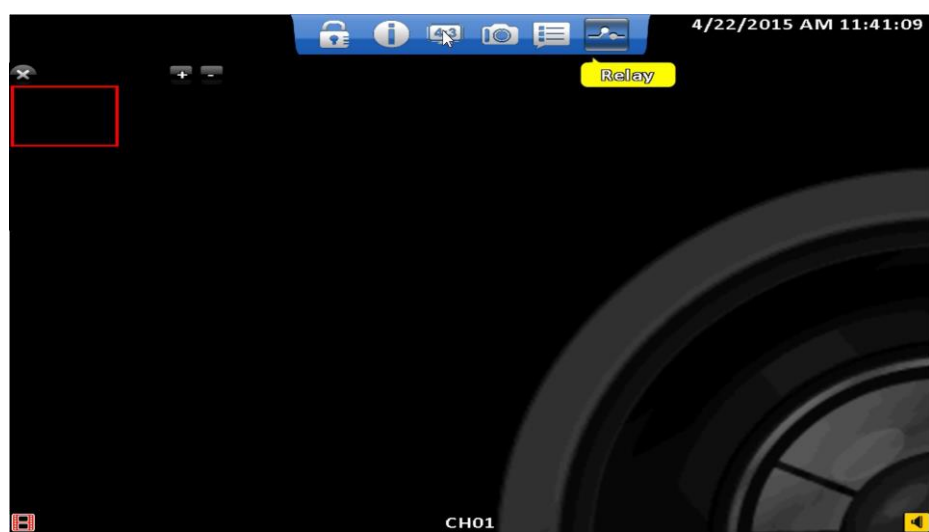
Table 2-5 再生モードでのマウス操作

アイコン	説明
	再生を停止し、前のページに移動
	再生
	一時停止
	早戻し、速度 4 倍、8 倍、16 倍、32 倍
	早送り、速度 4 倍、8 倍、16 倍、32 倍
	スロー再生、速度 1/2 倍、1/4 倍、1/8 倍
	コマ送り
	ズームイン表示、2 倍～8 倍デジタルズーム
	1 画面表示
	4 分割画面表示
	9 分割画面表示

1 画面でのチャンネルを見る場合、そのチャンネルをダブルクリックしてください。



16:9 表示



4:3 表示

小さなウィンドウをドラッグすることができます。

2-5 システムログ

DVR は自動的にイベントをログを記録します。イベントリストはログに記録されたイベント、イベントの種類、イベントの詳細、イベントフィルタ(基準)、イベントリストのページ数を表示します。イベントビデオが記録されている場合は、イベントの左側にある灰色のビデオシンボル“▶”が表示されます。イベント行にカーソルを移動し、“ENTER”キーを押す、またはマウスをダブルクリックします。DVR は、イベントに関連したこの録画ビデオを再生します。



注意: ハードディスクが設定されていないか、録画を開始していない場合、DVR はイベントリストを生成しますが、イベントをクリックすることで、特定のイベントのビデオを再生することはできません。

項目	説明
検索基準設定	イベント検索の条件を設定
	イベントリストのページを選択するには、スライダーをスライドさせます。右側の番号は、対応するページ番号が表示されます。
	左か右の矢印キーを押すか、直接ページ番号を入力します。選択したイベントページに移動します。
	イベントリストを更新

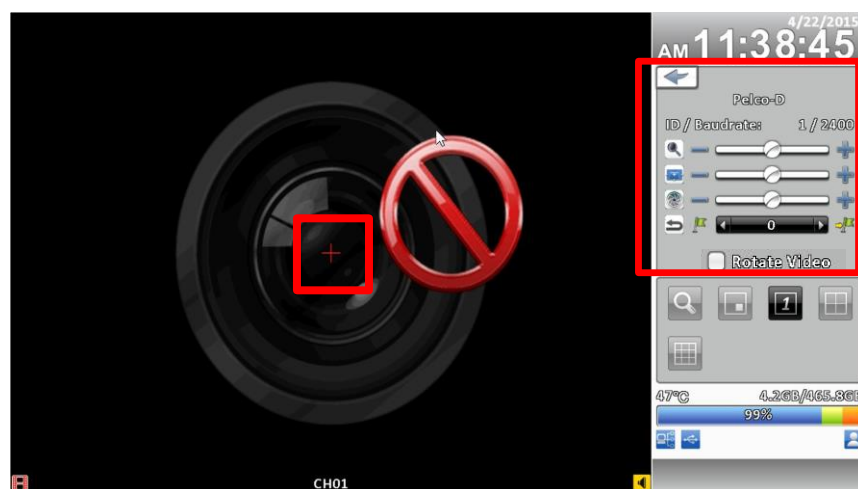
2-5.1 検索基準

イベントの数は数千まであります。したがって、イベントの迅速な分類を容易にするため、“検索条件”を設定します。開始時間と終了時間のチェックボックスがチェックされている場合、イベントリストは、特定の時間内のイベントを表示します。いくつかのイベントのチェックを外して“OK”を押すと、チェックされたイベントだけがリストに表示されます。あるチャンネルのチェックを外した場合、イベントリストはチェックされているチャンネルのみを表示します。



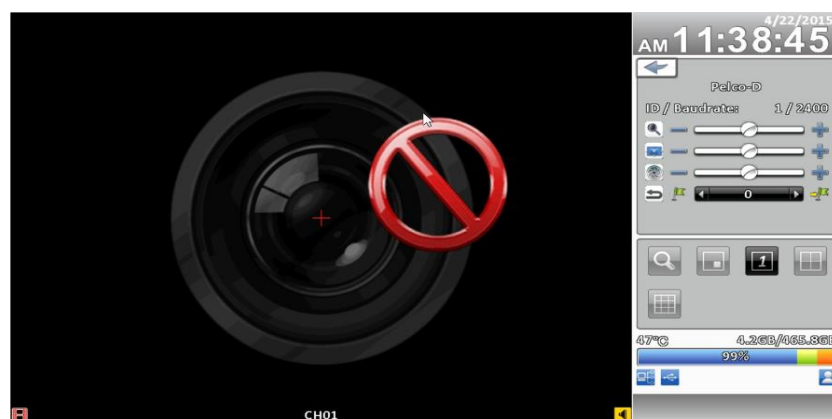
2-6 PTZ の操作

事前にカメラの PTZ 設定を設定します。(3-3.1 を参照)PTZ 設定ページに入り、PTZ コントロールパネルでカメラの PTZ 設定が表示されます。画面の中央に赤色の十字が表示されます。赤色の十字にマウスを移動して、マウスの左ボタンを押したまま画面の任意の場所に移動します。DVR は、画面の中央に任意の場所を配置し、その場所へカメラを移動します。画面上の任意の方向に移動します。PTZ カメラの方向をコントロールすることができます。



PTZ 設定

映像回転の機能は、リモート接続のみです。



16:9 表示



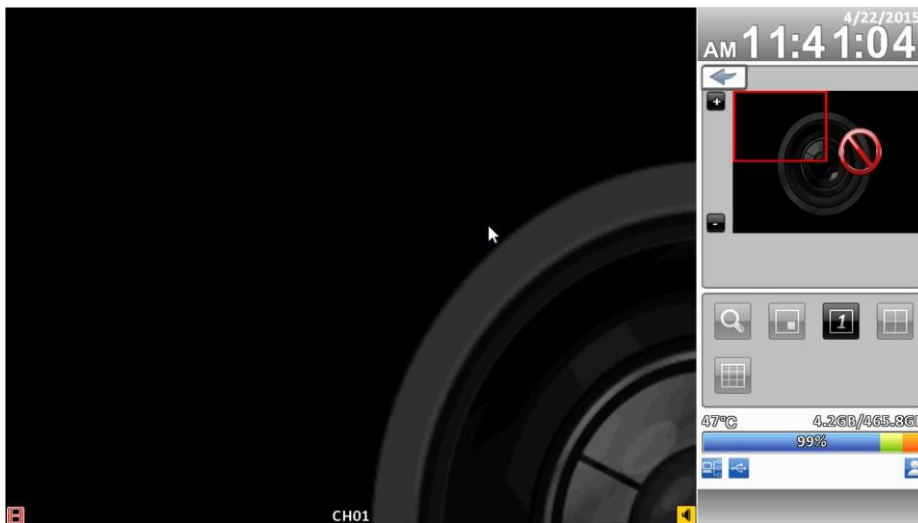
4:3 モード PTZ 設定

Table 2-6 機能説明

項目	説明
	ズーム。+ / - を押す、または、ズームレベルを調整するには、スライダを移動します。
	フォーカス。+ / - を押す、または、PTZ フォーカスを調整するには、スライダを移動します。
	アイリス。+ / - を押す、または、PTZ アイリスを調整するには、スライダを移動します。
	矢印キーを左または右に押し、カメラをプリセット位置へ移動します。現在のカメラの位置をデフォルト位置にするために、 を押します。
	矢印キーを左または右に押し、カメラをプリセット位置へ移動します。カメラを次のプリセット位置に変更するために、 を押します。

2-7 ズーム

デジタルズームモードでは、ズーム領域の赤色の枠を移動するために、マウスを使用します。



16:9 表示 ズーム



4:3 表示 ズーム

小さいウィンドウをドラッグします。

項目	説明
	赤色の枠で指定した領域を拡大(ズームイン)します。
	赤色の枠で指定した領域を縮小(ズームアウト)します。
	ズームモード終了

2-8 ショートカット ツールバー

リアルタイムモニタリングモードで、ウィンドウの上部にマウスを移動すると、ショートカットツールバーが表示されます。

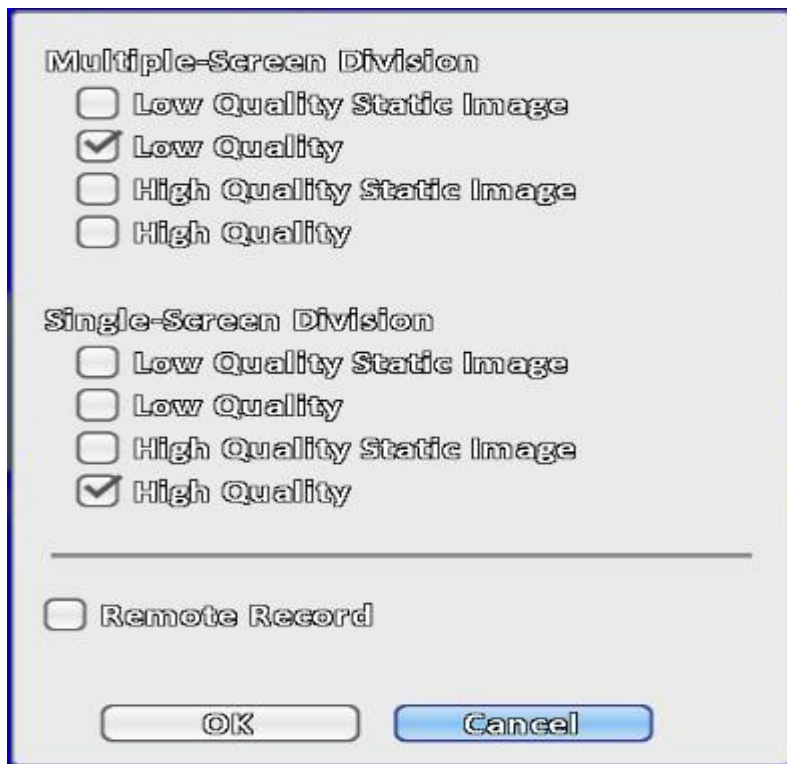


アイコン	説明
	ユーザーログイン / ログアウト: オートロック使用
	システム情報: 型式、バージョン、IP、MAC アドレス、HDD 情報
	ワイド画面切り替え: 4:3 / 16:9 モニター表示切り替え
	スクリーンショット(スナップショット)
	録画 ON / OFF
	フルスクリーン(全画面表示)
	オプション: PC 側のスクリーンショット、ビデオの保存先を変更します。
	ネットワークストリームレベル: PC のネットワーク帯域幅、画像の転送トラフィックを調整することができます。
	ポップアップ設定
	リレー。DVR のリレーの動作をコントロールすることができます。

※ 録画機能、フルスクリーン、オプション、ネットワーク画像品質、これらの 4 つの機能はリモートで使用

※ スクリーンショット、ビデオ機能、オプション、これらの 3 つの機能は、“iWatchDVR”でのみ使用できます。
IE7/8/9 では対応していません。

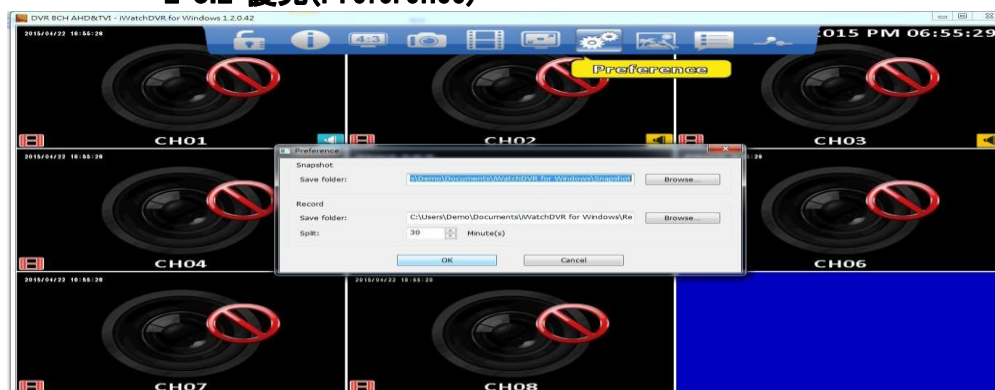
2-8.1 ネットワークストリームレベル



オプション	説明
低品質全画面画像	低品質固定モード:1 秒間 1~2FPS で帯域幅不足の時に使用
低品質	低品質動的モード:DVR 録画設定に依存
高品質全画面画像	高品質全画面静的モード:1 秒間 1~2FPS で帯域幅不足の時に使用
高品質	高品質動的モード:DVR 録画設定に依存

※ 画像の滑らかさ:実際のネットワーク環境に基づきます

2-8.2 優先(Preference)



2-8.3 ポップアップ設定



項目	説明
イベント	チャンネルの状態がウィンドウに表示されます。
OSD	時間、HDD の状態、チャンネル情報、チャンネルの境界線の表示

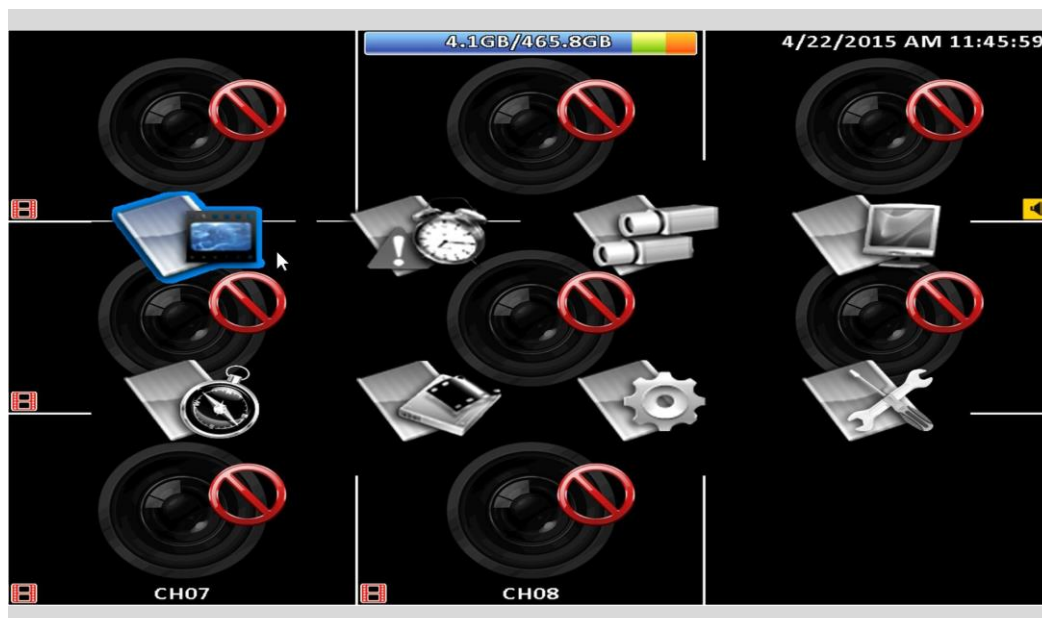
2-8.4 リレー



オプション	説明
リレー 1 ~ 4	リレー ※モデルによって数が異なります
機能	Open、Close、自動

Chapter 3 設定メニュー

※16CH モデルは設定画面が異なります。16CH モデルの録画画質、イメージ、プライバシーマスク、モーションエリアの設定は、「カメラ設定」内に設定箇所があります。詳しくは P41 「3-3.2 高等な設定」の項目を参照ください。



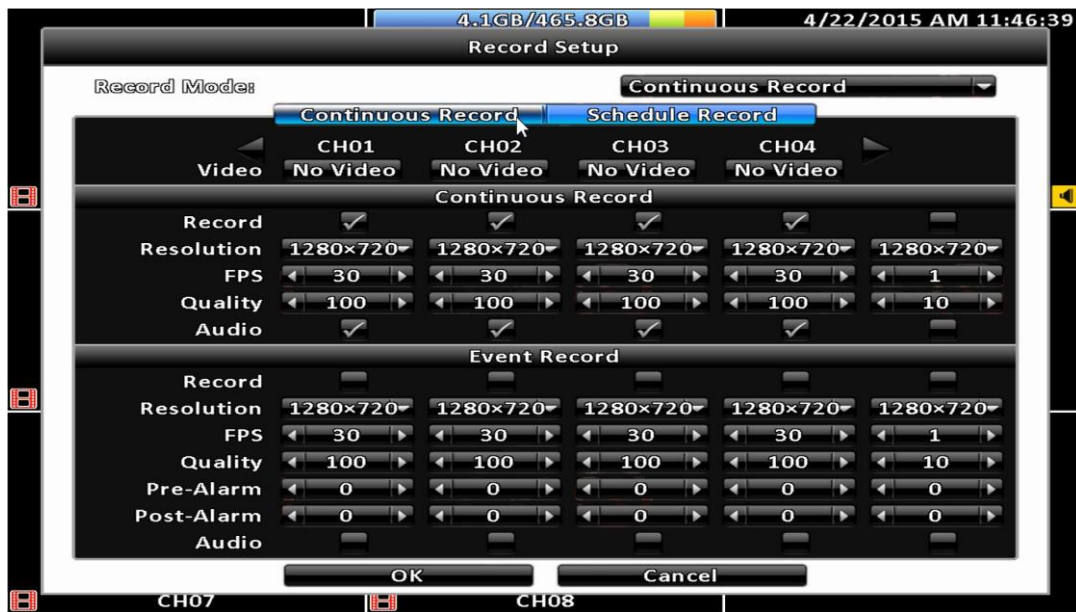
録画の前に新しく取り付けした HDD の初期化が必要になります。詳細は“ユーティリティの設定”を参照してください。

3-1 録画設定



項目	説明
録画モード	常時録画/ スケジュール録画/ オフ

3-1.1 常時録画



項目	説明
ビデオ	アイコン No Video をクリックして、このチャンネルのビデオ設定が表示されます。この設定メニューの で保存、 で前の画面へ戻ります。 *1
録画	このチャンネルの録画の有効/無効
解像度	録画解像度の選択 *2
FPS	録画のフレームレートを 1～30 から選択
画質	録画品質を 10～100 から選択。大きい数字の方がより良い品質
音声	録音の有効/無効

Note 1: チャンネルソースは、“HD 信号”の機能はありません

3-1.1.1 ビデオの設定



16:9 表示のビデオの設定



4:3 表示のビデオの設定

項目	説明
シャープネス	シャープネスを 0～255 までで調整します
ブライトネス	ブライトネスを 0～255 までで調整します
コントラスト	コントラストを 0～255 までで調整します
彩度	彩度を 0～255 までで調整します
色調	色調を 0～255 までで調整します
音量	音量を 0～255 までで調整します

3-1.1.2 イベント録画

項目	説明
録画	このチャンネルの録画の有効/無効
解像度	録画解像度の選択 *2
FPS	録画のフレームレートを 1～30 から選択
画質	録画品質を 10～100 から選択。大きい数字の方がより良い品質
プリ録画	0～5 秒から、イベントの前に録画の秒を設定
ポスト録画	0～100 秒から、イベントの後の録画の秒を設定
音声	指定されたチャンネルのイベント録画の録音の有効/無効

Note 2: モデルが異なると、解像度の設定が異なります。

入力設定	解像度		
NTSC (HD)	1920 x 1080	1280 x 720	640 x 360
NTSC (960H)	944 x 480	704 x 480	472 x 240
NTSC (D1)	704 x 480	704 x 240	352 x 240
PAL (HD)	1920 x 1080	1280 x 720	640 x 360
PAL (960H)	944 x 576	704 x 576	472 x 288
PAL (D1)	704 x 576	704 x 288	352 x 288

Universal Series:

入力設定	解像度	
NTSC	1080p	1920 x 1080
	720p	1280 x 720
	nHD	640 x 360
	WD1	944 x 480
	qWD1	472 x 240
PAL	1080p	1920 x 1080
	720p	1280 x 720
	nHD	640 x 360
	WD1	944 x 576
	qWD1	472 x 288

3-1.2 スケジュール録画

スケジュール録画は 1 週間と時間の日によって録画時間を設定することができます。A、B、C、D の 4 つの設定は、必要に応じて異なる設定で別の録画方式を設定することができます。曜日と時間のグリッドマップでは、スケジュールの時間帯を選択し、A、B、C、D の 1 つのボタンを押して、ビデオ設定を指定します。



イベント設定

モーション検知、または、センサー機能のスケジュール録画を有効、または無効にします。



3-1.2.1 設定



項目	説明
カメラ名	チャンネルの録画の名前の変更

残りの項目は、3-1.1 連続録画を参照してください。

3-1.2.2 祝日設定

祝日の数は 50 までです。時間が指定した祝日になると、DVR は、祝日の設定に応じて録画を開始します。

祝日は、異なる国や地域によって異なるため、ユーザーのニーズに応じて祝日設定をすることができます。



3-2 イベント設定

3-2.1 ビデオロス



3-2.1.1 設定

項目	説明
有効	ビデオロスの検出機能の有効/無効

3-2.1.2 イベント設定(処理)

項目	説明
ログ	ビデオロスのイベントが発生したときにイベントログに書き込みます。
イベント録画	イベントが発生した時、イベント録画のチャンネルを選択してください。ビデオの設定は、“設定→録画設定→イベント録画”に対応します。 (3-1-1-2 イベント録画を参照)
全画面表示	ライブモードでは、チャンネルのビデオロスが検出された場合、チャンネルを全画面表示します。警告のウィンドウの表示を指定することができます。1:メイン画面、2:セカンド(第2)画面*1
画面表示 CH	イベントが発生すると、指定したチャンネルをポップアップ表示
ブザー	イベントが発生したときにブザーを有効にするかどうかの DVR の動作を設定します。
リレー	イベントが発生したときにリレーを有効にするかどうかの DVR の動作を設定します。
PTZ	イベントが発生したときに指定したチャンネルの PTZ コントロールモードに変更するかどうかの DVR の動作を設定します。
移動位置	イベントが発生したときに指定したプリセット位置にカメラを移動します。
再開位置	イベントが終了したときに指定のプリセット位置にカメラを戻します。

*1 モデルによって対応していないものもあります

3-2.1.3 受信者設定



項目	説明
有効	イベントが発生したとき、DVR が指定したユーザーに電子メール通知を送信するかどうかを設定します。
Admin / Users	電子メール通知の受信者を設定します。

3-2.2 モーション検知



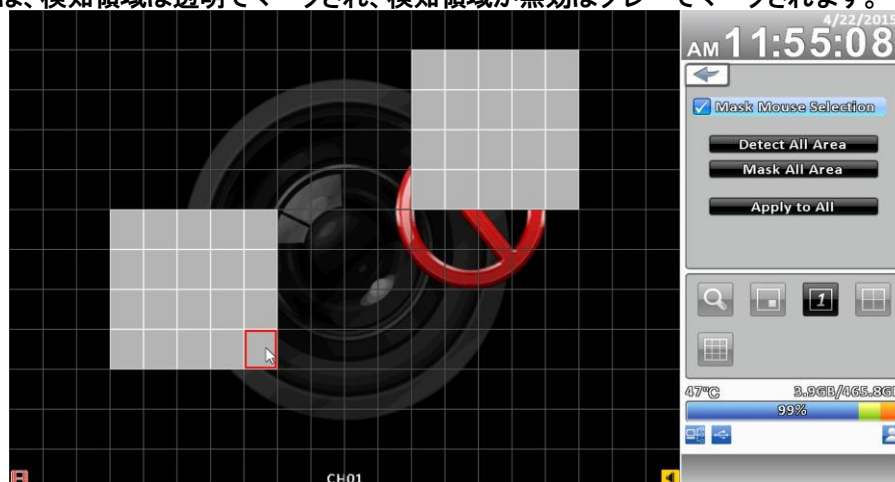
3-2.2.1 設定

項目	説明
有効	このチャンネルのモーション検知機能を有効/無効
感度	感度の値は、0～100。数値が高いほど、より高い感度を意味します。
領域設定	モーション検知の領域を設定に入ります

3-2.2.1.1 モーション領域の設定

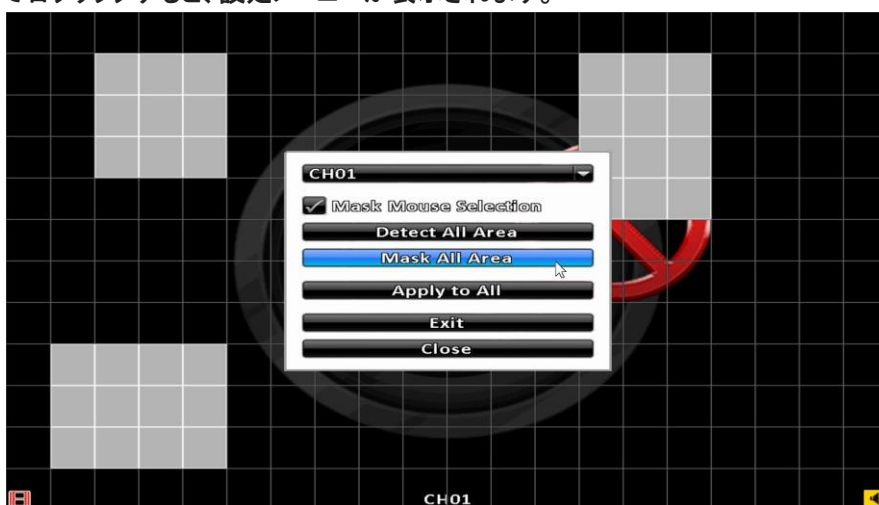
モーション検知は、22 x 18 のグリッドに分割されています。デフォルトの検知領域はフルスクリーンです。

画面では、検知領域は透明でマークされ、検知領域が無効はグレーでマークされます。



16:9 表示

画面上で右クリックすると、設定メニューが表示されます。



4:3 表示

項目	説明
CH01 ~ CH32	選択したチャンネルのモーション検知の機能
マウスでマスクゾーン設定	カーソルをドラッグして、“選択”と“選択解除”を切り替えます。
全ての領域を感知オン	検知領域として画面全体を選択
全ての領域を感知オフ	全検知領域の選択を解除
全てに反映	すべてのチャンネルに現在の設定を適用します
終了	設定を保存して終了
閉じる	設定を保存して、エリア設定メニューを閉じます

3-2.2.2 イベント設定(処理)

3-2.1.2 イベント設定(処理)を参照してください

3-2.2.3 受信者設定

3-2.1.3 受信者設定を参照してください

3-2.3 センサー



※ 各センサーの名前を変更することができ、リモートで様々な言語を入力することができます。

3-2.3.1 設定

項目	説明
有効	センサーの有効/無効
極性	N.C: センサーはトリガーされていません。接続した時、センサーは ON になります。
	N.O: センサーはトリガされました。接続した時、センサーは OFF になります。

3-2.3.2 イベント設定(処理)

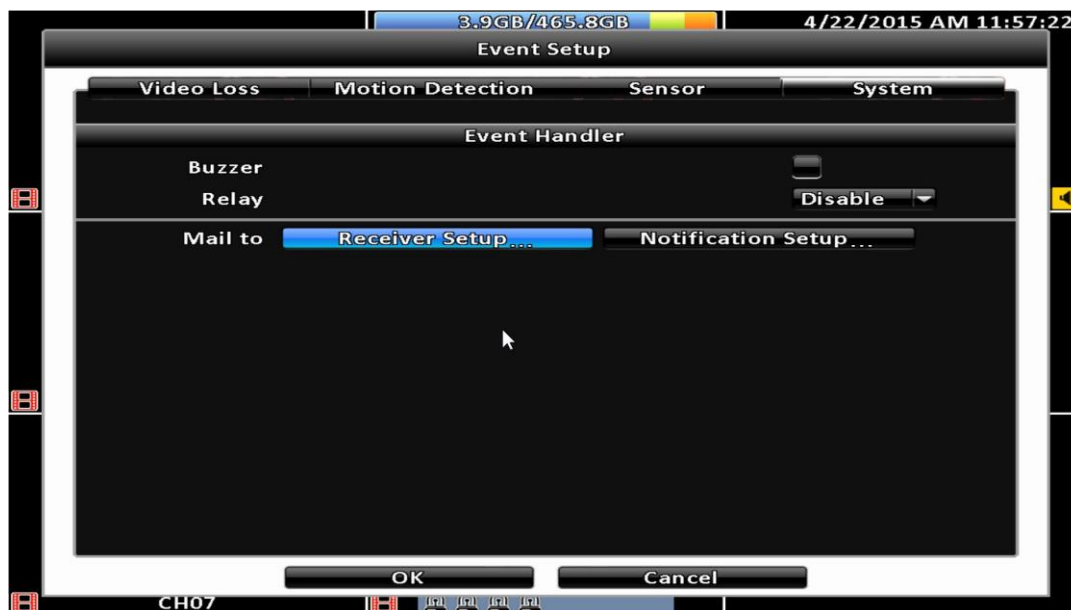
3-2.1.2 イベント設定(処理)を参照してください

3-2.3.3 受信者設定

3-2.1.3 受信者設定を参照してください

3-2.4 システム

システムイベントが発生すると、リレー、ブザー、受信者の設定に応じて、通知や警告が発報されます。ブザーのチェックボックスをオンにすると、ビデオに関連するエラーの時にブザーが連続的に鳴り続けます。(HDD が書き込めない、HDD が搭載されていない等)他のシステムイベントの時、ログイン、ログアウト、起動時などは、ブザーは鳴りません。

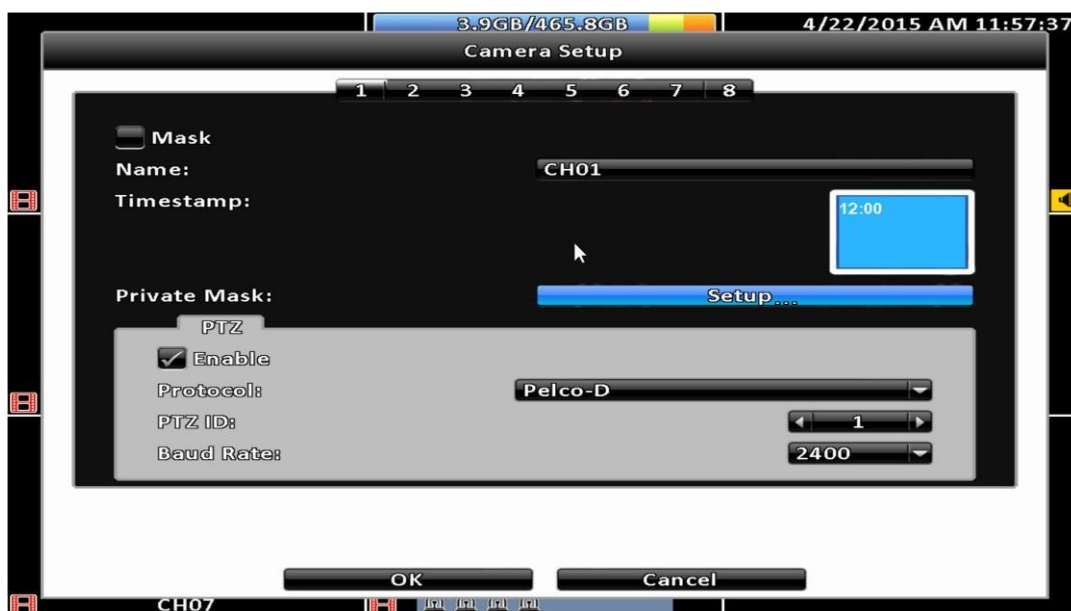


項目	説明
ブザー	録画エラーが発生したとき、ブザーを鳴らすかどうか設定します。
リレー	イベントが発生したとき、連動するリレーを設定します。

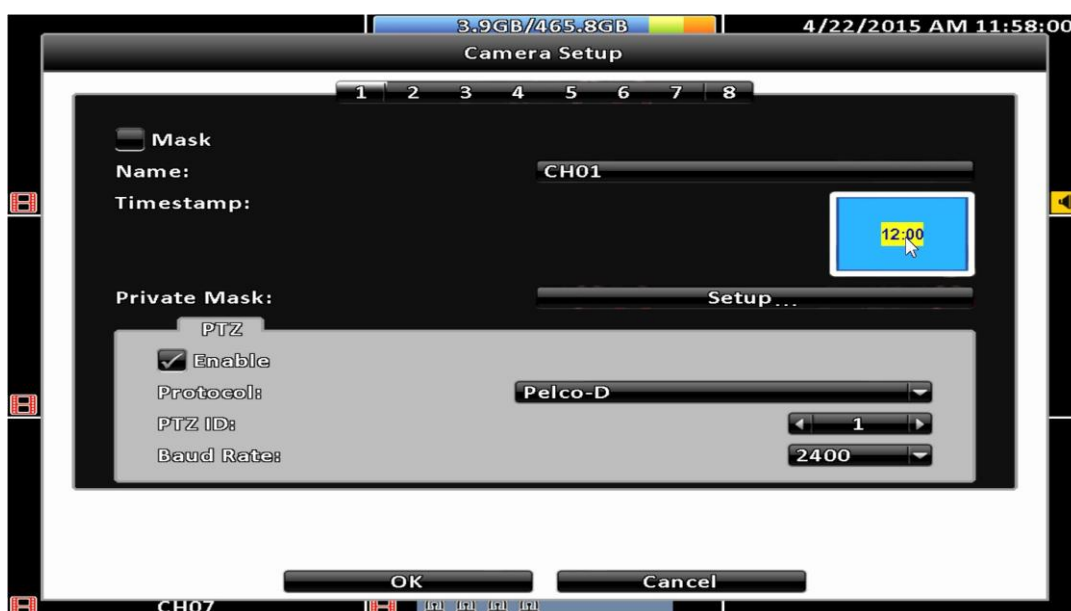
3-2.4.1 受信者設定

3-2.2.3 受信者設定を参照してください

3-3 カメラ設定



項目	説明
マスク	ライブモードでカメラのマスク機能の有効/無効
カメラ名	チャンネルの名前
タイムスタンプ	タイムスタンプの位置を設定するために、青い画面をクリック



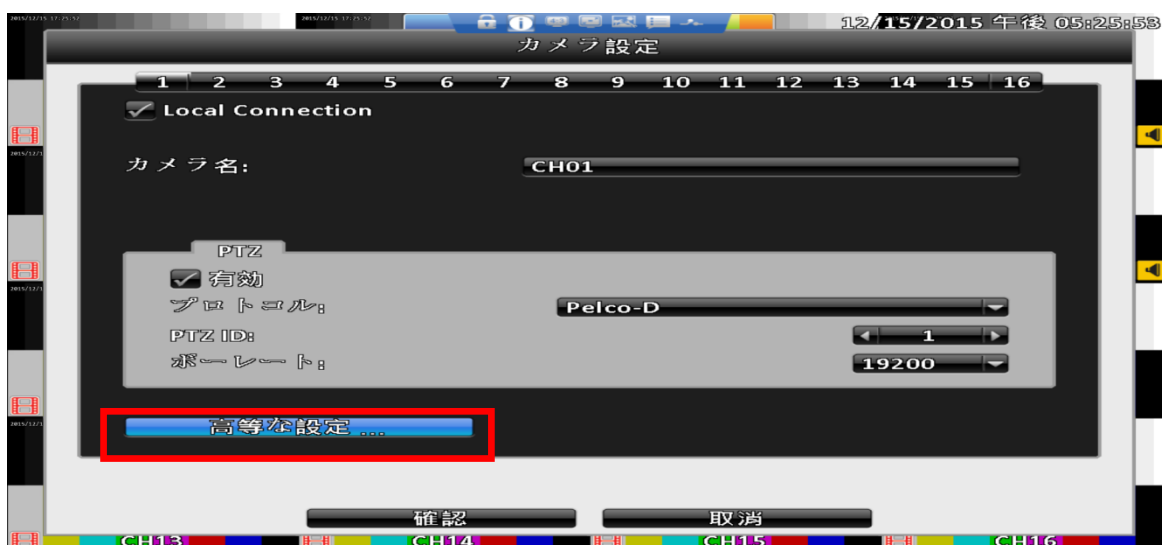
3-3.1 PTZ の設定



項目	説明
有効	PTZ 機能の有効/無効
プロトコル	対応しているプロトコルは次のとおりです。PELCO-D、PELCO-P、Merit LiLin 1、Merit LiLin 2、SAMSUNG、LG-MultixE
PTZ ID	PTZ ID を設定します。有効な ID 値は 0～255 です。
ボーレート	PTZ コントロールのプロトコルのボーレートを選択します。 2400、4800、9600、19200

3-3.2 高等な設定 ※16ch モデルのみ

ここでは、イメージ設定、録画画質設定、プライバシーマスク設定、モーションエリア設定を行うことができます。



3-3.2.1 エンコーダー設定 ※16ch モデルのみ

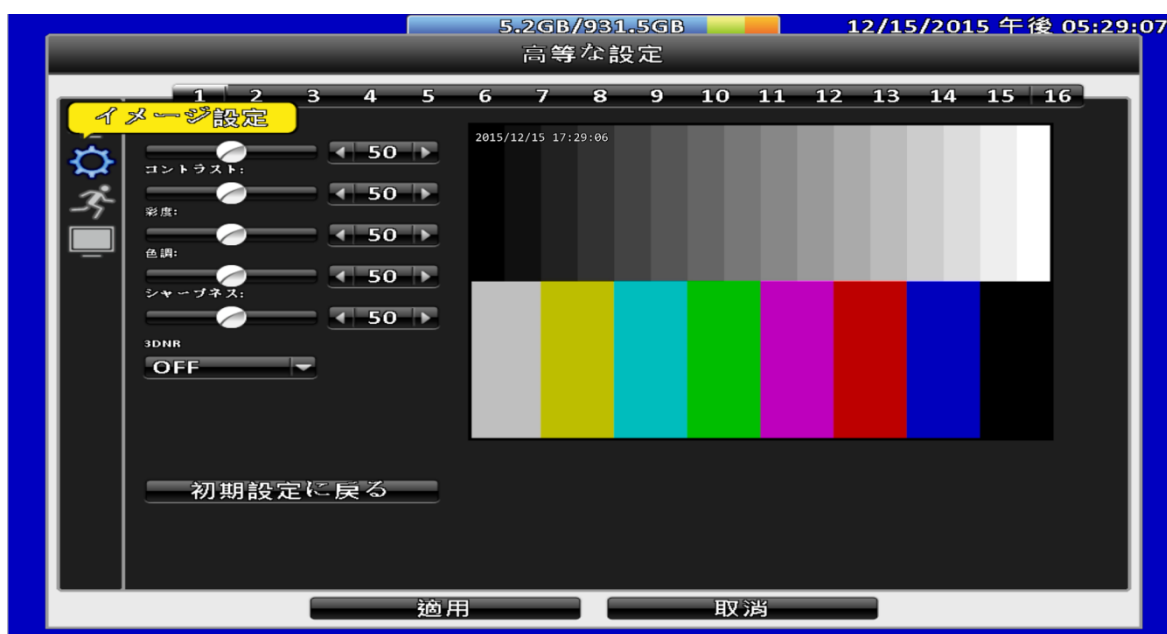


メインストリーム:録画時の設定

サブストリーム:ライブ分割時の品質

項目	説明
解像度	解像度の選択
FPS	秒間フレームレート(コマ数)を1～30 から選択
画質	録画品質を10～100 から選択。大きい数字の方がより良い品質

3-3.2.2 イメージ設定 ※16ch モデルのみ

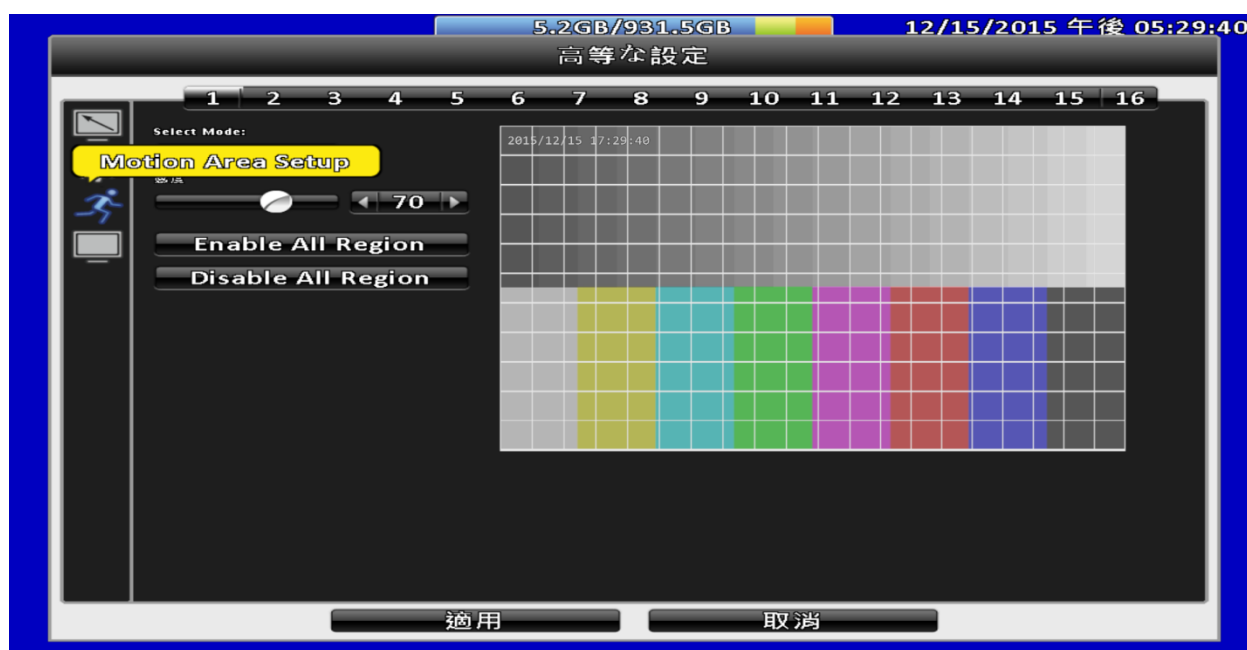


右ウィンドウに映像が表示されます。各項目のパラメータを任意で調整することが出来ます。チャンネル毎に設定が可能です。

項目	説明
ブライトネス	ブライトネスを 0～255 までで調整します
コントラスト	コントラストを 0～255 までで調整します
彩度	彩度を 0～255 までで調整します
色調	色調を 0～255 までで調整します
シャープネス	シャープネスを 0～255 までで調整します
3DNR	映像上のノイズを軽減します
初期設定に戻る	クリックすると、各設定が初期設定に戻ります

3-3.2.3 モーションエリア設定 ※16ch モデルのみ

ここでは、イベントとして使用可能なモーションの感度やエリアの設定を行うことができます。チャンネル毎に設定が必要になります。

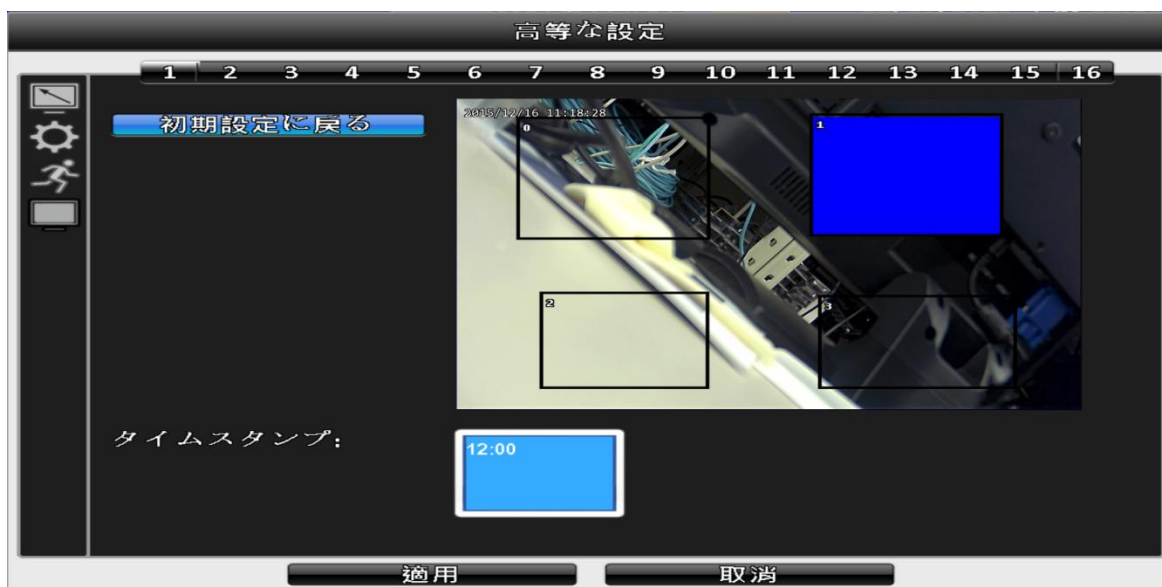


項目	説明
Select Mode	モーション検知機能の有効/無効設定
感度	0～100、数値が高いほど、より高い感度を意味します
Enable All Region	全ての領域を有効にします
Disable All Region	全ての領域を無効にします

右ウィンドウのグリッドをクリックすることで有効/無効を切替出来ます。有効エリアはグレーで表示され、無効エリアは透明で表示されます。

3-3.2.4 プライバシーマスク設定 ※16ch モデルのみ

映像内に隠したい内容が含まれている場合に該当箇所をマスク表示にすることができます。チャンネル毎に設定可能です。マスクした箇所は録画にも反映されます。



マスクエリアの移動:

エリア内をクリックしたままドラッグするとエリアの位置を動かす事が出来ます。

エリアの大きさ変更:

マスクエリアの右下角をクリックしたままドラッグすることでエリアの大きさを変更できます。

エリアの有効無効:

エリア内をダブルクリックするとマスクの有効無効を切り替えることが出来ます。

項目	説明
初期設定に戻る	クリックすると、各設定が初期設定に戻ります
タイムスタンプ	タイムスタンプの表示位置

3-4 アカウント設定

10 ユーザーのアカウントのユーザーパスワードと権限を設定することができます。
(1 管理者 + 10 ユーザー)それぞれのアカウントは、DVR の機能の異なる権限を設定することができます。

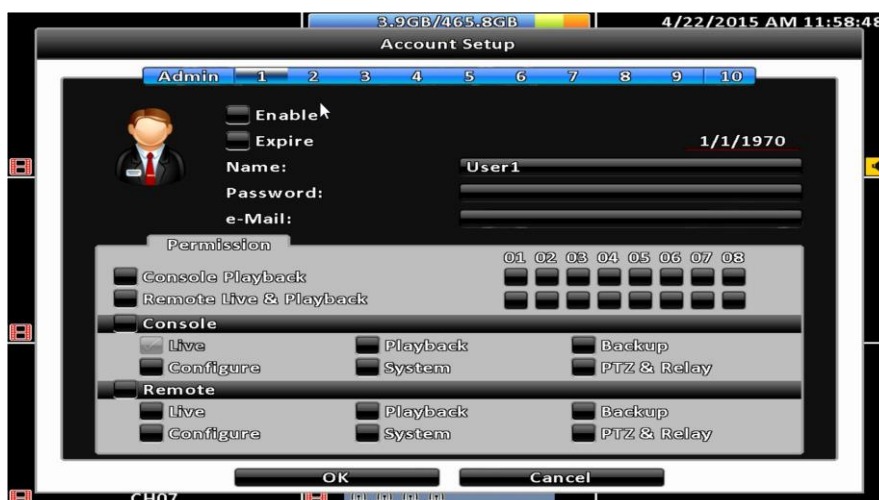
3-4.1 管理者

デフォルトの管理者アカウントとパスワードは、“admin” と “123456” になります。



項目	説明
有効	ユーザーアカウントを有効にします
期限切れ	ユーザーアカウントの期限切れを設定します
名前	ユーザー名を設定します
パスワード	パスワードを設定します。パスワードは、文字と数字の混合し、大文字と小文字の区別することができます
E-メール	ユーザーの電子メールを設定します

3-4.2 他のユーザー



項目	説明
有効	ユーザーアカウントを有効にします
期限切れ	ユーザーアカウントの期限切れを設定します
名前	ユーザー名を設定します
パスワード	パスワードを設定します。パスワードは、文字と数字の混合し、大文字と小文字の区別することができます
E-メール	ユーザーの電子メールを設定します

3-4.2.1 権限(許可)

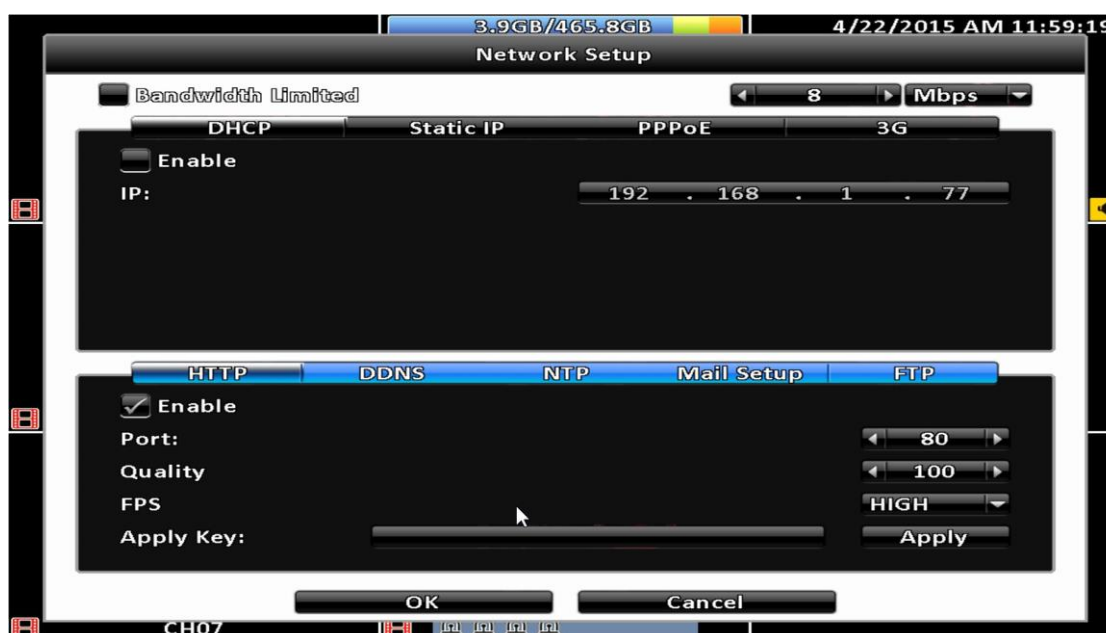
アカウント設定は、設定メニュー、ネットワーク操作、PTZ 機能、再生、ユーティリティ、バックアップ、パスワードの有効期限、再生中の特定のチャンネルのマスクを含む、個々のユーザーで権限を設定することができます。

項目	説明
録画装置再生	ローカル側のチャンネルの再生を許可します
遠隔ライブ&再生	リモート側のチャンネルのライブ画面、再生を許可します。
コンソール	ローカル側での操作を許可します。(ライブ、再生、バックアップ、設定、システム、PTZ)
リモート	リモート側での操作を許可します。(ライブ、再生、バックアップ、設定、システム、PTZ)



※ ローカル、リモートの権限を使用し、それぞれのオプションをチェックする必要があり、それ以外の場合は動作しません。

3-5 ネットワーク設定



項目	説明
DHCP	DVR は DHCP サーバから IP アドレスを自動的に取得します。
固定 IP	DVR の固定 IP アドレスを設定します。
PPPoE	PPPoE 接続用のユーザ名とパスワードを設定します。
3G	3G 接続のログイン設定を設定します。
HTTP	リモートアクセス用の HTTP 設定を設定します。
DDNS	DDNS 設定を設定します。
NTP	NTP 設定を設定します。
メール設定	メール送信設定を設定します。
FTP	FTP 設定を設定します。

3-5.1 ネットワーク設定

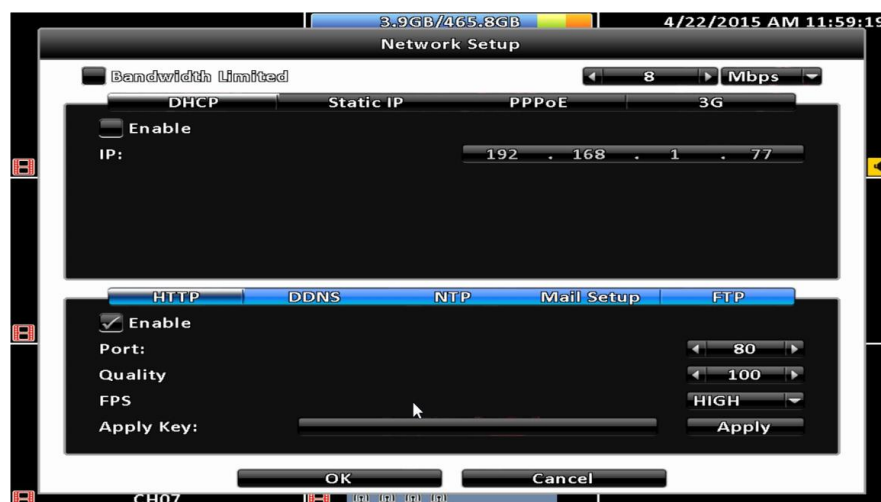
ネットワークに接続する方法は 3 つあります。

3-5.1.1 DHCP の設定

DHCP が選択されると、IP アドレスが自動的に DHCP サーバによって割り当てられます。

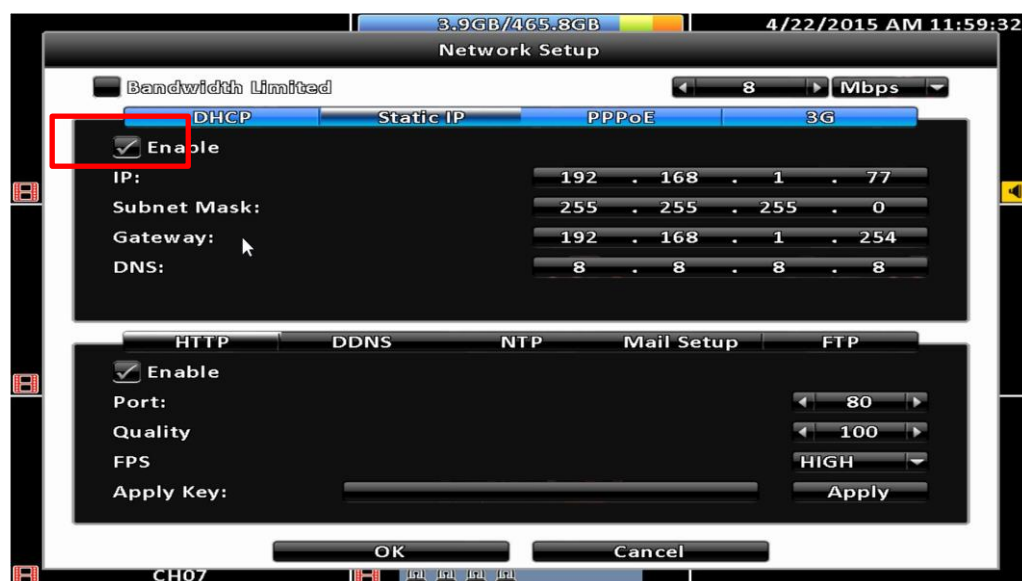
注意:このページに示されている IP アドレスは DHCP サーバから取得した IP アドレスではありません。

DHCP サーバから取得した IP は、システム情報のページに表示されます。



3-5.1.2 固定 IP の設定

ネットワーク接続の固定 IP の設定は、次の情報が必要です。

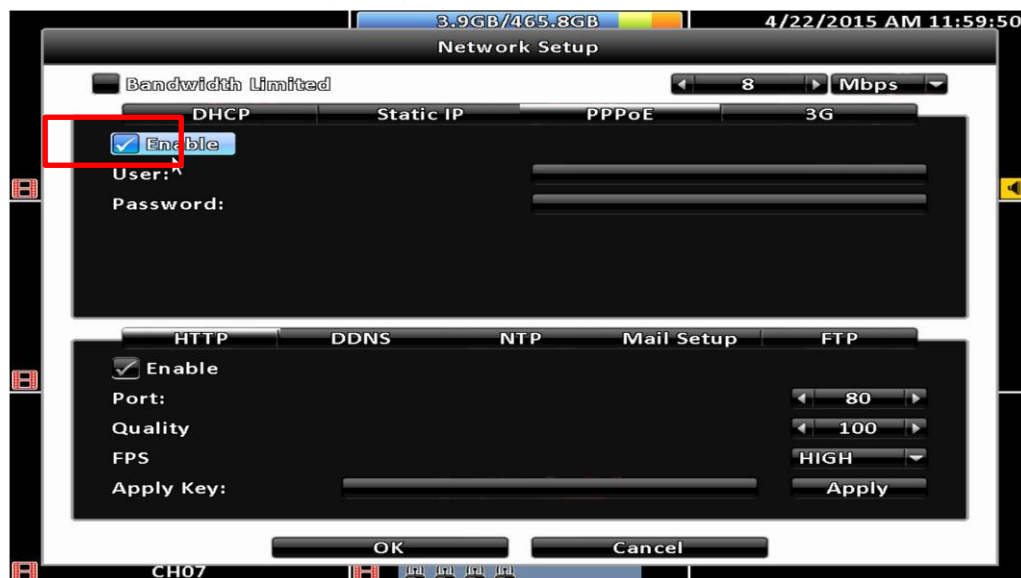


項目	説明
有効	固定 IP 機能の有効/無効
IP	固定 IP アドレスを入力
サブネットマスク	サブネットマスクを入力

ゲートウェイ	ゲートウェイ IP アドレスを入力
DNS	DNS アドレスを入力 (注:DDNS 機能を利用するには正しい DNS アドレスを入力する必要があります)

3-5.1.3 PPPoE の設定

ネットワーク接続を PPPoE で選択した場合、次の情報が必要です。



項目	説明
有効	PPPoE 機能の有効/無効
ユーザー	IPS から提供されたユーザー名を入力
パスワード	IPS から提供されたパスワードを入力

3-5.1.4 3G の設定

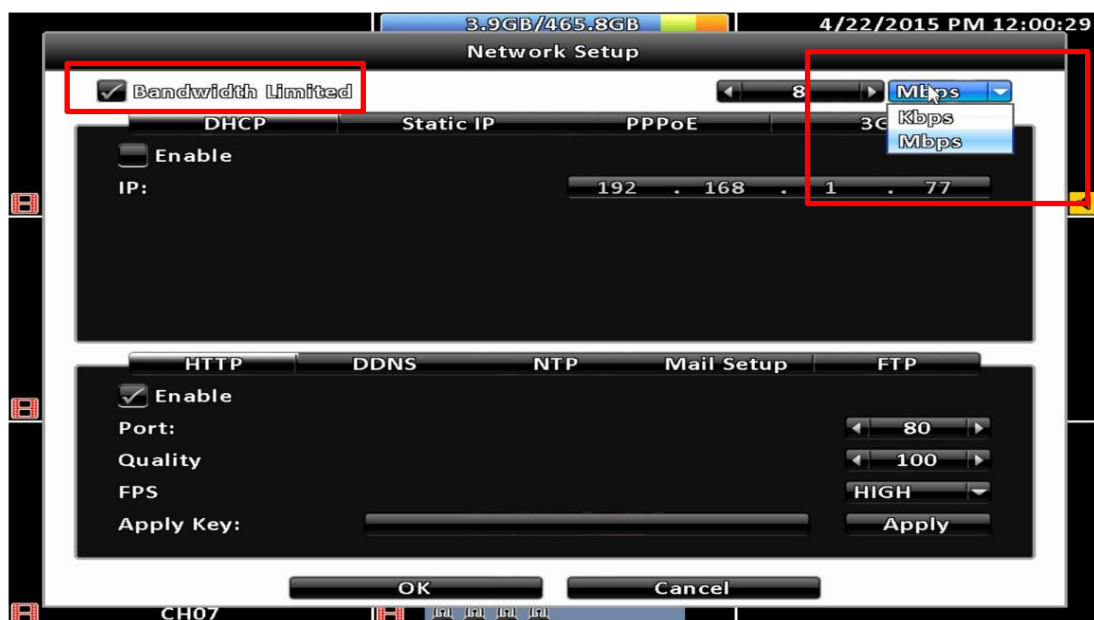
USB 3G の dongle を使用して、ネットワークにアクセスします。

※3G dongle の特定のチップだけに対応しており、3G のダイヤルアップ機能には、いくつかの ISP に互換性がない場合があります。



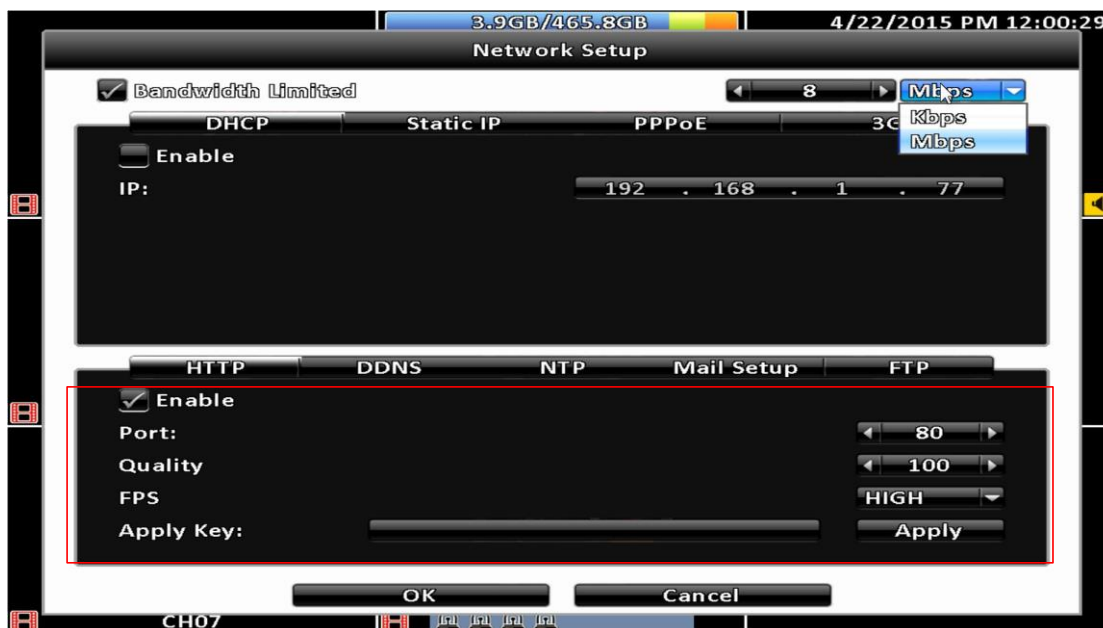
項目	説明
有効	3G 機能の有効/無効
電話番号	IPS より提供された、ダイヤルアップ番号
PIN	SIM カードのパスワードを入力
APN	“internet” または、IPS より提供された他の値を入力
ユーザー	IPS のユーザー名を入力
パスワード	IPS のパスワードを入力

3-5.1.5 バンド(帯域)幅制限



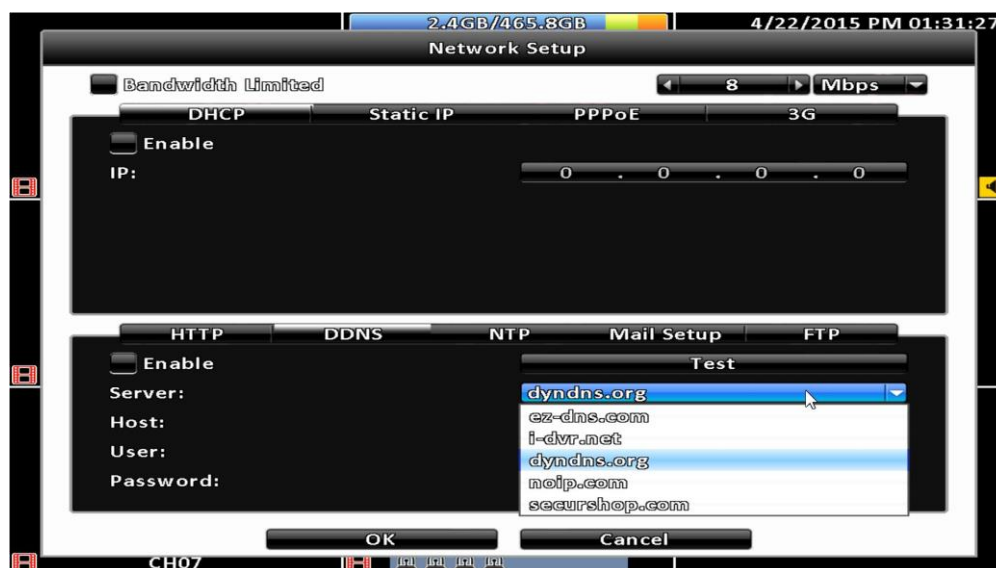
オプション	説明
帯域幅	範囲: 1~9999
制限単位	Kbps 、Mbps

3-5.2 HTTP の設定



項目	説明
有効	HTTP サーバを有効にします。HTTP 機能が有効になっている場合、ネットワーク経由にてリモートで DVR にアクセスすることができます。
ポート	ポートを 1～65535 の値で入力します。デフォルト値は 80 です。
適用キー	P2P の P2P アクセスキーを入力します。

3-5.3 DDNS の設定



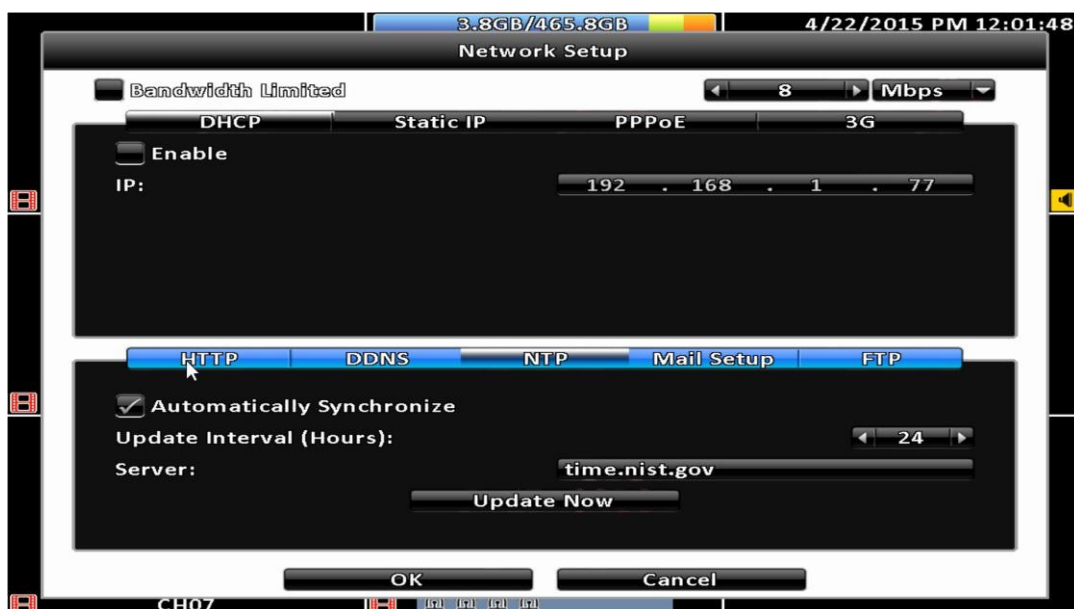


項目	説明
有効	DDNS の機能の有効/無効
サーバー	登録した DDNS サーバーを入力します： ez-dns.com、i-dvr.net、dyndns.org ez-dns.com、i-dvr.net は、自動割り当ての DDNS に対応しています。 これら 2 つの DDNS サービスの時、 システムは自動的に、C + DVR の Mac アドレスの最後から 6 文字 をホストサイトの 先頭部分として起動します。 Mac アドレスの最後の 6 文字、FD5CCD とすると、 CFD5CCD.i-dvr.net、または、CFD5CCD.ez-dns.com がホストサイトとなります。
ホスト	完全な DDNS アドレスを入力 (ユーザー名 + サーバ含む) ユーザ名が、h.264 で、i-dvr を選択した場合、 h.264.i-dvr.net と入力する必要があります。
ユーザー	ユーザー名を入力します。
パスワード	パスワードを入力します。

***より詳細な I-DVR.NET の操作説明は、appendix I、II を参照してください。**

3-5.4 NTP の設定

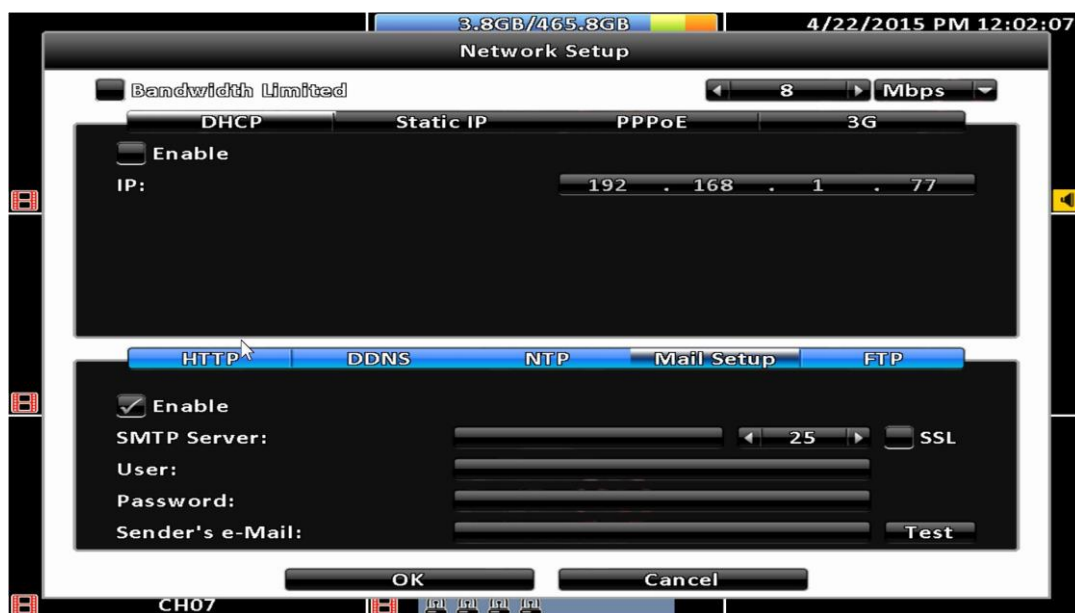
ネットワーク時刻同期の機能の設定。



項目	説明
自動で同期する	DVR の自動同期機能にチェックを入れ有効にし、再起動します。
更新間隔 (時)	時刻同期の更新間隔の設定
サーバ	時刻(NTP)サーバのアドレス設定
アップデート	NTP サーバから時刻情報をすぐに更新します。

3-5.5 メールの設定

DVR から電子メールを指定したユーザーに送信する必要があるとき、メール設定のタブで、電子メールの制御の設定をします。



項目	説明
有効	メール通知機能の有効/無効
SMTP サーバ	SMTP サーバの名前とポートの設定
ユーザー	ユーザー名を入力
パスワード	パスワードを入力
送信元メールアドレス	送信メールアドレスを入力

3-5.6 FTP の設定



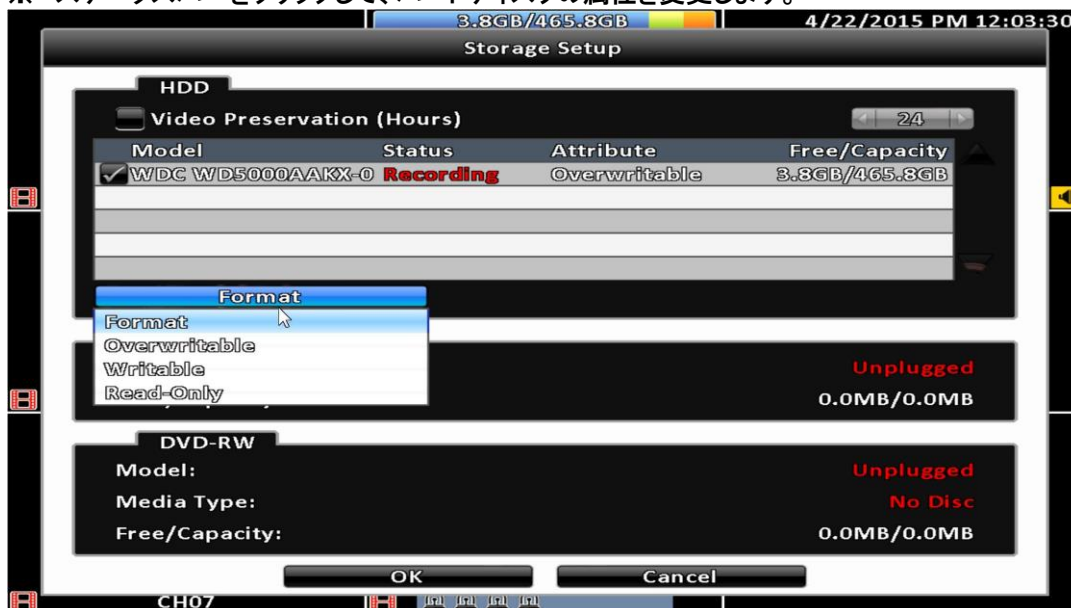
項目	説明
有効	FTP 機能の有効/無効
サーバー	FTP サーバの名前とポート
ユーザー	ユーザー名を入力
パスワード	パスワードを入力
ディレクトリ	アップロードの FTP ディレクトリのパス

3-6 ストレージの設定

3-6.1 HDD の設定



※ ステータスバーをクリックして、ハードディスクの属性を変更します。



項目	説明
映像保持 (時間)	ビデオの保存期間の設定。録画したビデオは自動的に保存期間が過ぎた後に削除されます。
型式	HDD の型式
ステータス	HDD のステータス (録画中/エラー)
属性	HDD の属性 (上書き可能/書き込み可能/読み取り専用)
空き容量/全容量	HDD の容量 (空き/容量)
フォーマット	ハードディスクドライブをチェックし、“フォーマット”を押します。 HDD を設定するための 4 つのオプションがあります。 DVR の HDD のフォーマットを開始します。ステータスバーに HDD 初期化“成功”と表示されたら、メニューに入り、ハードディスク情報(型式、容量)のすべてが表示されます。
上書き可能	設上書き可能の状態としてハードディスクを設定し、ハードディスクがいっぱいになったら上書きを開始します。
書き込み可能	書き込み可能の状態としてハードディスクを設定し、ハードディスクがいっぱいになったら書き込みを停止します。
読み取り専用	読み取り専用としてハードディスクを設定し、読み取り専用はハードディスクに書き込みことはできません。

3-6.2 USB メモリーの設定

USB Flash Drive	
Model:	JetFlash Transcend 8GB
Free/Capacity:	6.7GB/7.5GB

項目	説明
型式	USB メモリーの型式
空き容量	USB メモリーの容量 (空き/容量)

3-6.3 DVD-RW の設定

DVD-RW	
Model:	Unplugged
Media Type:	No Disc
Free/Capacity:	0.0MB/0.0MB

項目	説明
型式	DVR-RW の型式
メディアタイプ	ディスクのタイプ
空き容量	DVR-RW の容量 (空き/容量)

3-7 システムの設定

RHD Series:



HHD Series



項目	説明
DVR 名	リモートでログインした時に、DVR の名前が表示されます。
言語	OSD の言語を指定します。
映像方式	映像信号のフォーマットを指定します。(NTSC、PAL、自動検出)設定を有効にするには、DVR の再起動が必要です。

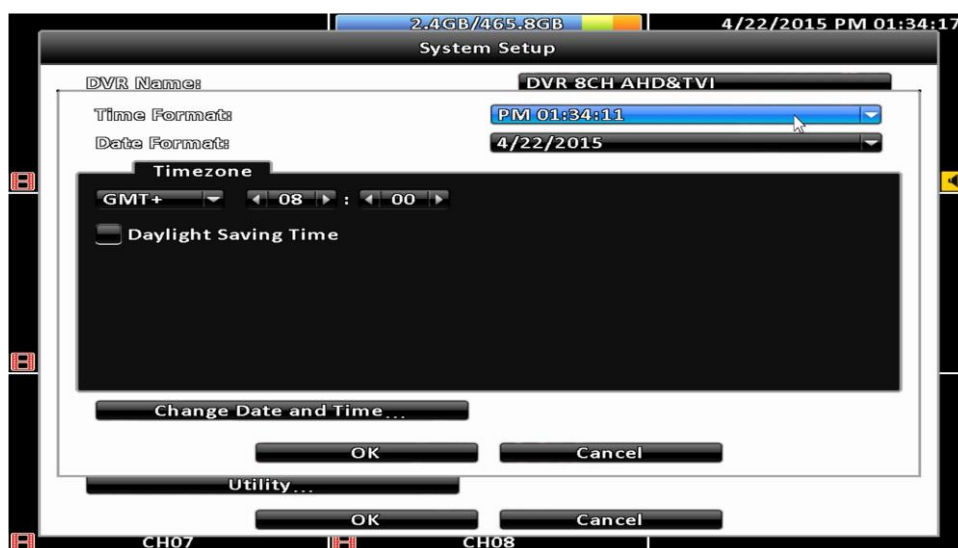
3-7.1 オートロック

項目	説明
有効	オートロックの有効/無効
タイムアウト(秒)	S 待機する秒数を設定します。何のアクションも無い時、パネルは自動的にロックされ、DVR は、現在のユーザーをログアウトします。DVR は自動的にログアウトすると、基本的な操作のみをサポートします。映像停止、スナップショット、ズーム、オートシーケンス、分割画面。設定メニュー、検索メニュー、バックアップメニュー、ステータスクエリー、再生、およびその他の操作は、ログインする必要がある、ユーザー名とパスワードが必要です。利用可能なタイムアウト値は、10～9999 秒です。

3-7.2 自動再起動

項目	説明
無効	自動再起動の有効/無効
毎日	毎日の自動再起動の時間の設定
毎週	毎週の自動再起動の時間の設定

3-7.3 日付/時間の設定

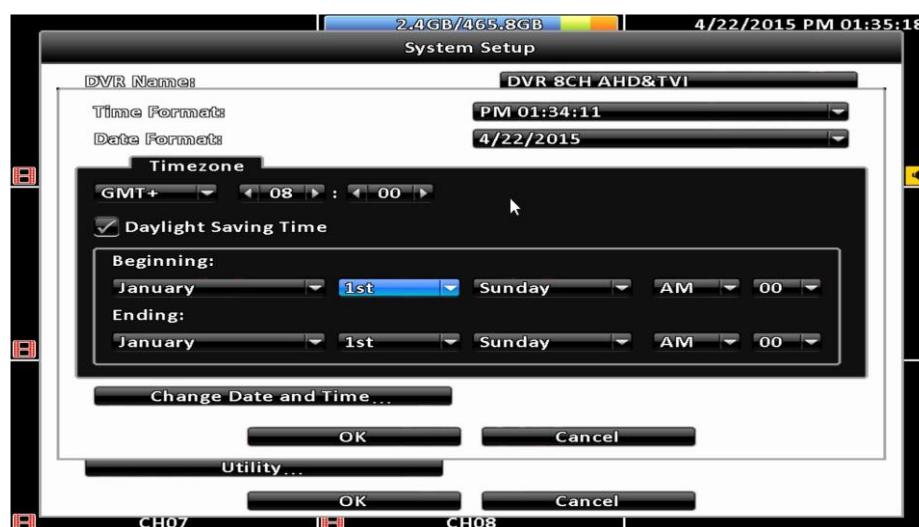


項目	説明
時間表示形式	12 時間/ 24 時間
日付表示形式	MM-DD-YY/DD-MM-YY/YY-MM-DD

3-7.3.1 タイムゾーン

項目	説明
タイムゾーン	DVR のタイムゾーンの設定。GMT-13～GMT+13
サマータイム	サマータイムの有効/無効

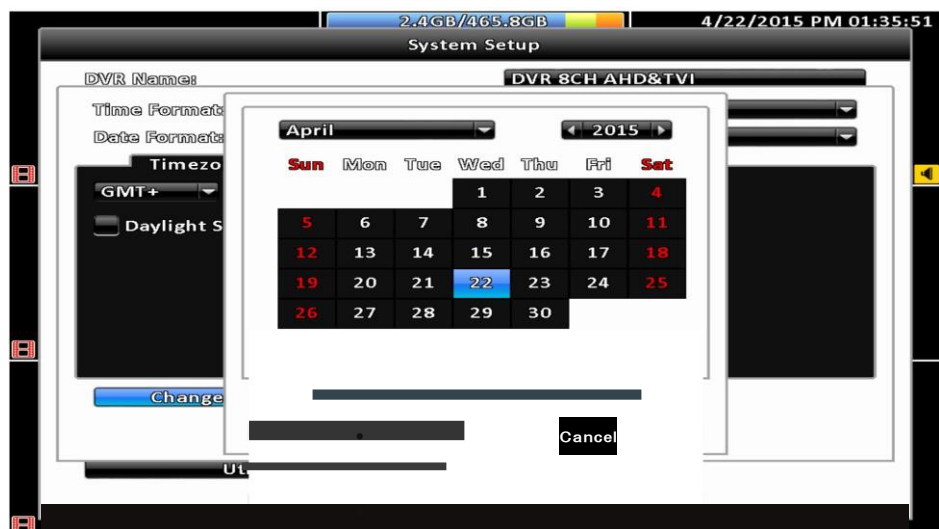
3-7.3.2 サマータイムの設定



項目	説明
開始中	サマータイムの開始時間の設定
終了中	サマータイムの終了時間の設定

3-7.3.3 日付/時間の変更

DVR の日時設定



3-7.4 モニターの設定

この機能は、特定のモデルでのみ対応しています。

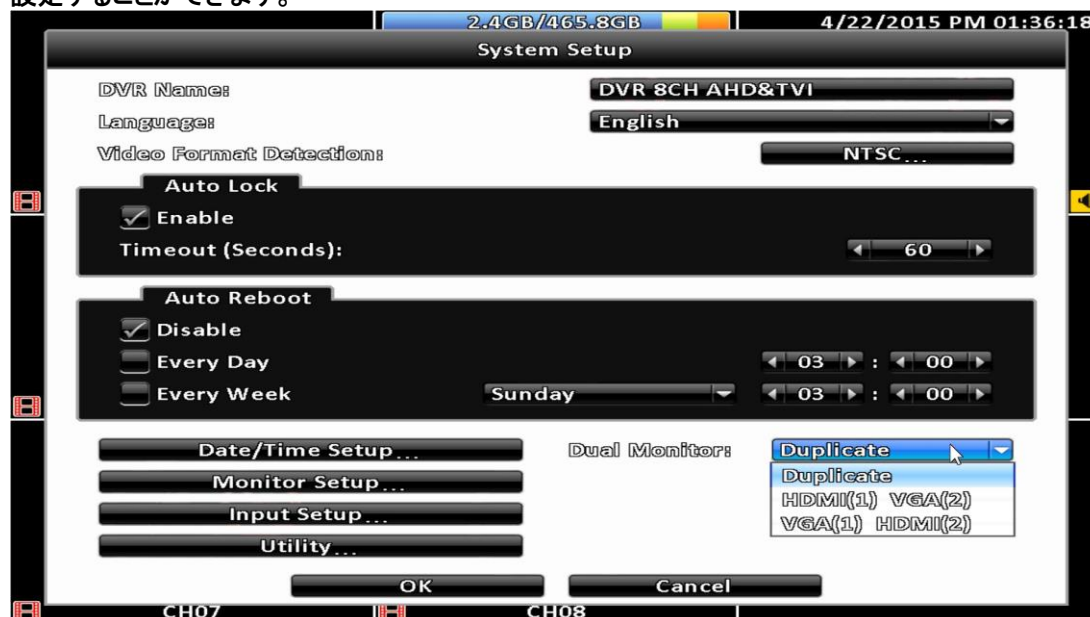
1 つをメイン画面、もう一方を第 2 画面に設定することができます。設定は、3 つの設定があります。

複製モードでは、両方のモニターに同じ内容が表示されます。

HDMI(1) VGA(2)モードでは、HDMI が画面 1、VGA が画面 2 になります。

VGA(1) HDMI(2)モードでは、VGA が画面 1、HDMI が画面 2 になります。BNC 出力端子は、画面 1 の内容と同じです。

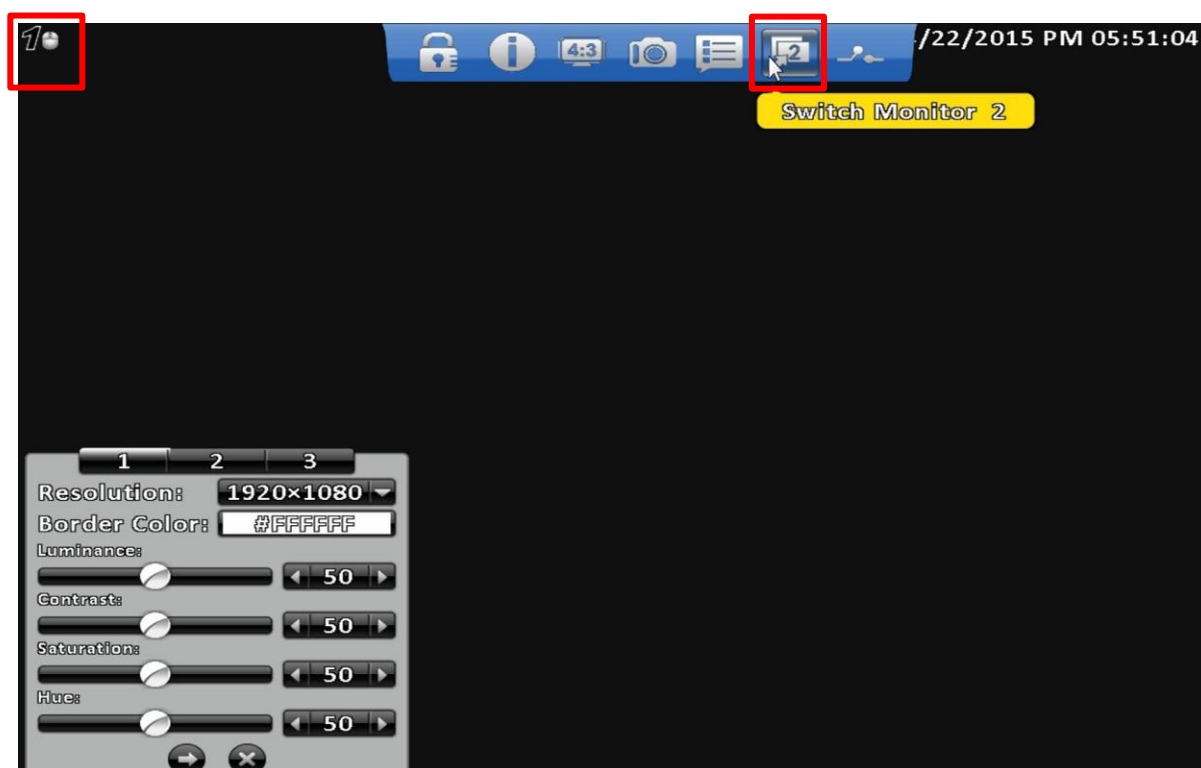
画面 1、画面 2 の出力は、画面の左上隅に表示される設定画面で、現在の数字が表示され、個別に設定することができます。



モニター設定

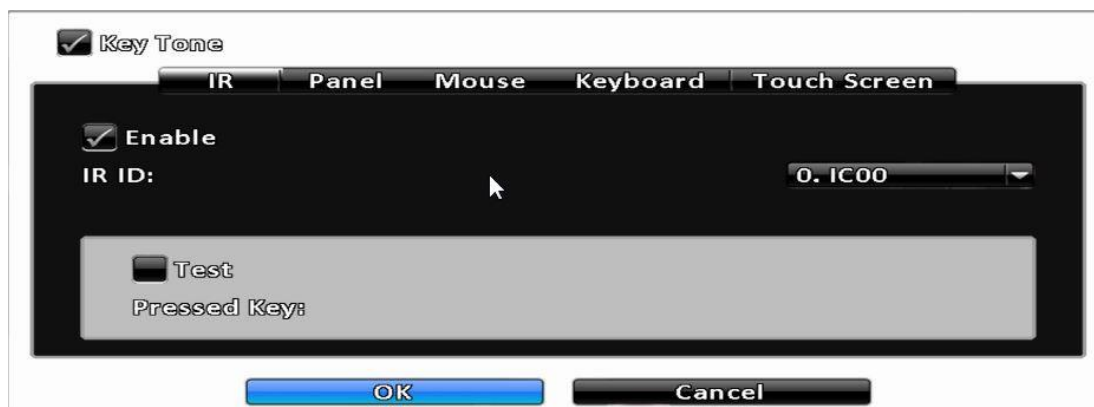
項目	説明
1、2	メイン画面(1)と、第2画面(2)の画面表示の設定メニュー
解像度	画面解像度の選択
境界線色	境界線の色の設定
輝度	明るさの設定 : 0~100
コントラスト	画面表示色のコントラストの設定 : 0~100
彩度	画面表示色の彩度を設定 : 0~100
色調	画面表示の色のトーンの設定 : 0~100

管理者は、個別の2つの画面設定を設定することができ、ライブビュー画面の内容と、別の再生の内容を表示することができます。管理者は、それらの1つの画面をコントロールしている場合、CH1の左上隅にマウスのアイコンが表示されます。2つの画面を切り替えるには、ショートカットバーの2画面切替ボタンを押します。



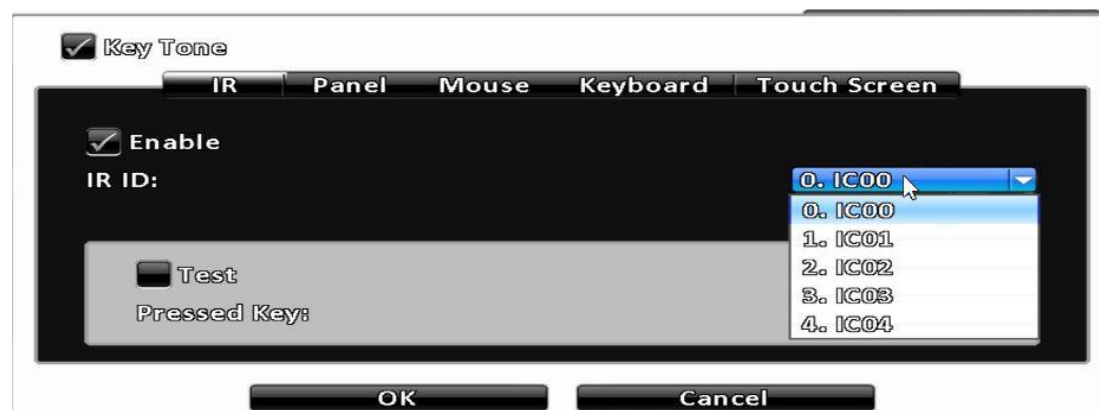
3-7.5 入力の設定

入力設定は、入力機器の設定をすることができます。(キートーン、リモコン、フロントパネル、マウス、カメラコントローラー、タッチパネル)を可能にします。



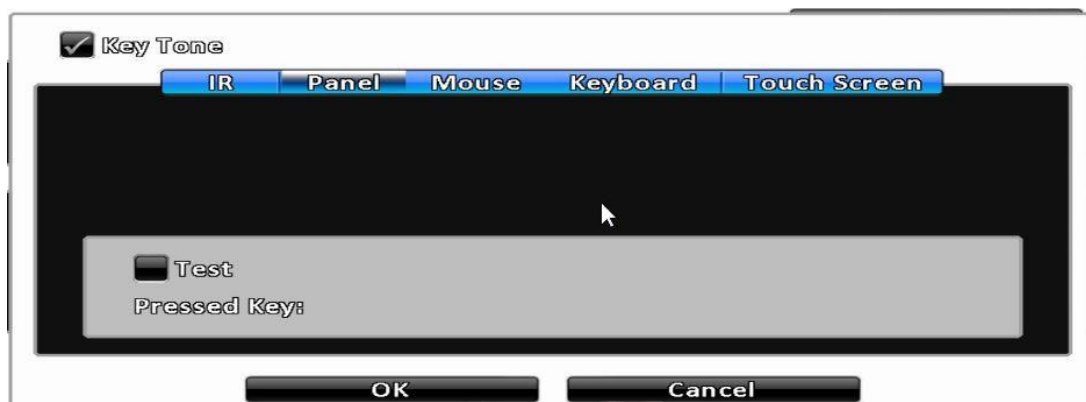
項目	説明
キートーン	キートーン(操作音)の有効/無効

3-7.5.1 リモコンの設定



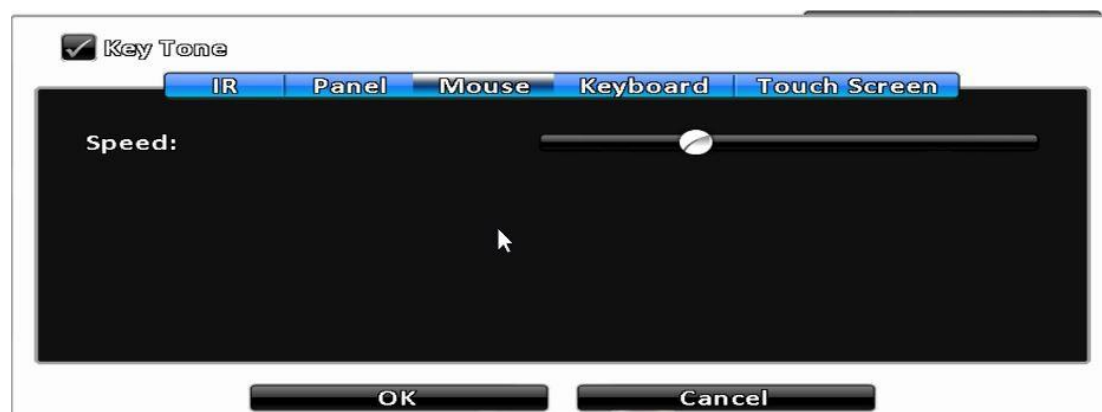
項目	説明
有効	リモコンの有効/無効
リモコン ID	デフォルトの ID は 0 です。DVR は、標準のリモコンによってコントロールされます。1 つのリモコンを、DVR の番号に対応するリモコンの番号にします。 (DVR1→IC01、DVR2→IC02)
テスト	テスト機能の有効/無効
押されたキー	押されたキーの情報の表示

3-7.5.2 フロントパネルの設定



項目	説明
テスト	フロントパネルボタンのテスト機能の有効/無効
押されたキー	押されたキーの情報の表示

3-7.5.3 マウスの設定



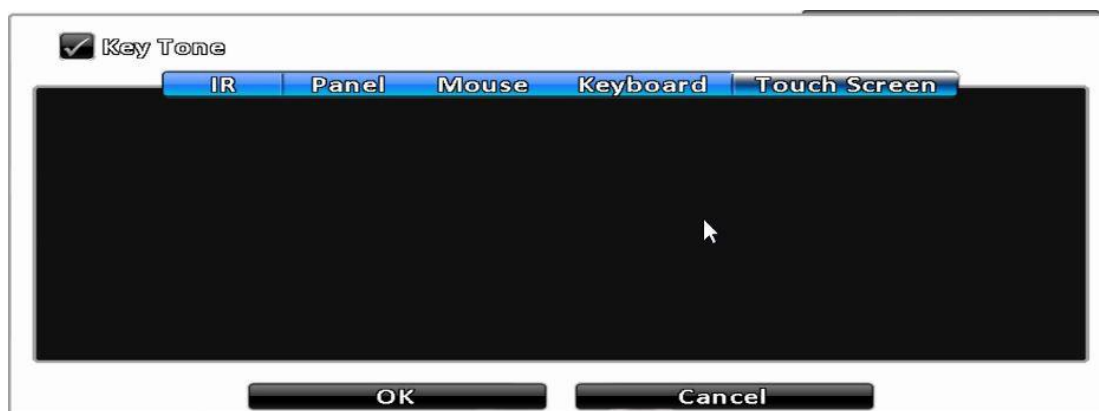
項目	説明
マウスの速度	マウスカーソルの速度の設定。スライダーの右側はより速いマウス速度を意味します。(ローカル設定の場合のみ有効)

3-7.5.4 カメラコントローラーの設定(PTZ キーボード)



項目	説明
RS-485 ID	RS-485 ID、有効値は 1～64 の範囲
RS-485 通信速度	RS-485 ボーレート : 2400、4800、9600、19200
キーボード	PTZ キーボードの選択
テスト	キーボードのテストの機能の有効/無効
押されたキー	押されたキーの情報の表示

3-7.5.5 タッチパネルの設定



タッチパネルの検出



必要に応じて、タッチスクリーンを再キャリブレーションで調整することができます。

3-7.6 ユーティリティの設定



項目	説明
設定書き出し	USB メモリ、リモート PC に DVR の設定をエクスポート
設定読み込み	USB メモリ、リモート PC から DVR に設定をインポート
設定リセット	システムの設定を初期化
ログ書き出し	USB メモリ、リモート PC に DVR のシステムログを保存
ログ消去	DVR のすべてのシステムログを消去
ファームウェア アップグレード	UUSB メモリを介して、DVR のファームウェアをアップグレードします。 アップグレードの前に、DVR の設定の録画とバックアップは停止してください。 アップグレードが行われると、システムは自動的に再起動します。

3-7.6.1 設定の書き出し

DVR の設定の対象のストレージのオプションがいくつかあります。

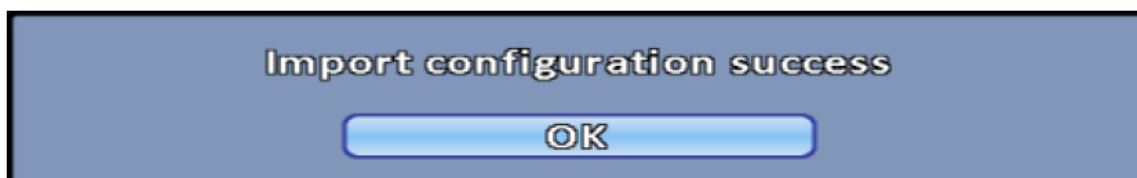
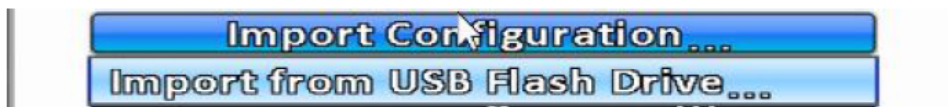
- a. USB メモリにエクスポートするデフォルトのファイル名は、“dvrcfg”です。



3-7.6.2 設定読み込み

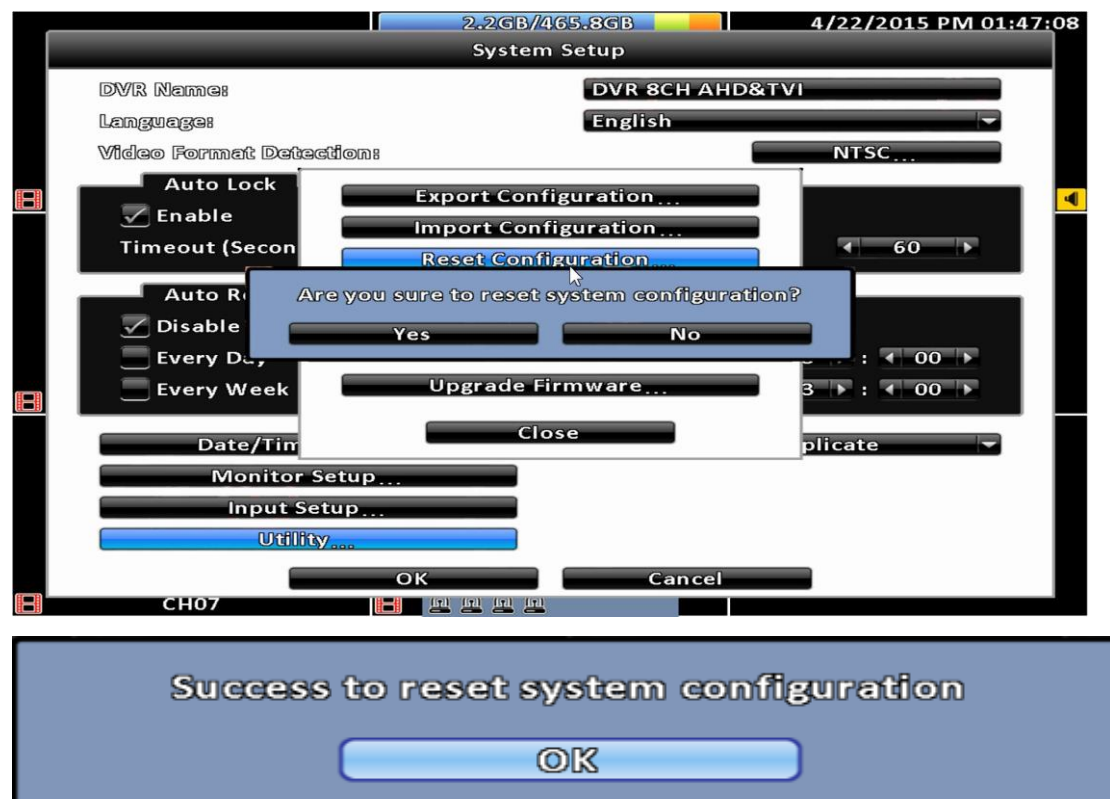
USB メモリ、またはリモート PC から、DVR の設定をインポートします。

- a. USB メモリからインポート:USB メモリから設定をインポートします。



3-7.6.3 設定リセット

DVR をリセットして、設定をデフォルトにします。

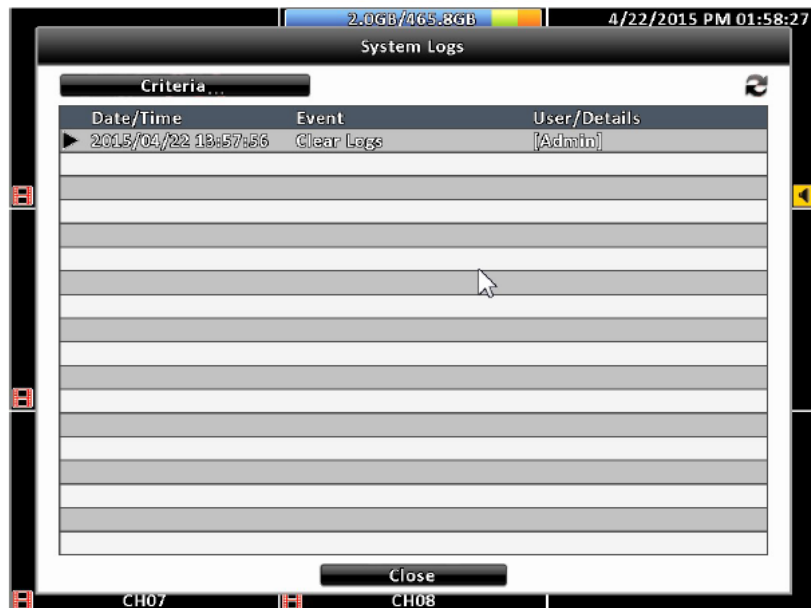
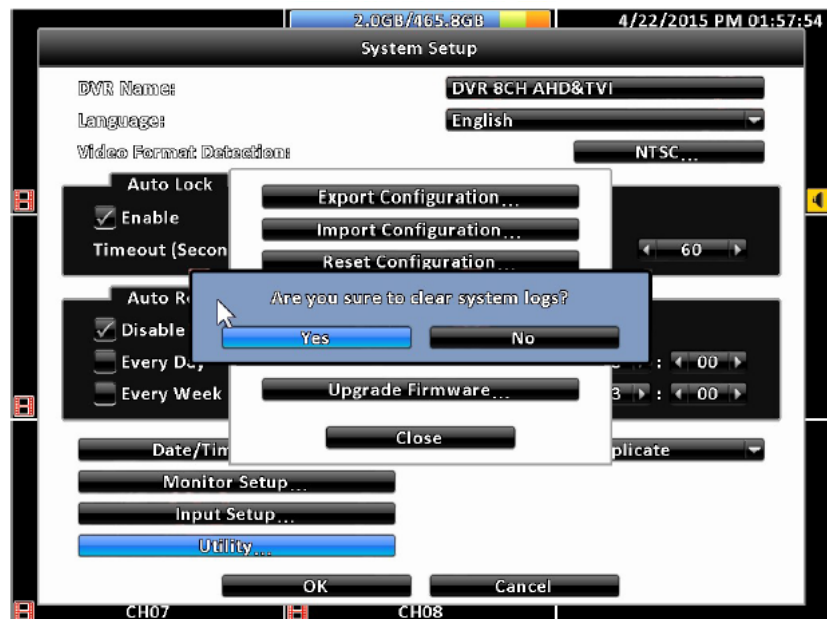


3-7.6.4 ログ書き出し

- USB メモリへエクスポート: USB メモリへログをエクスポートします。デフォルトファイル名は、"log.csv"です。



システムログを消去

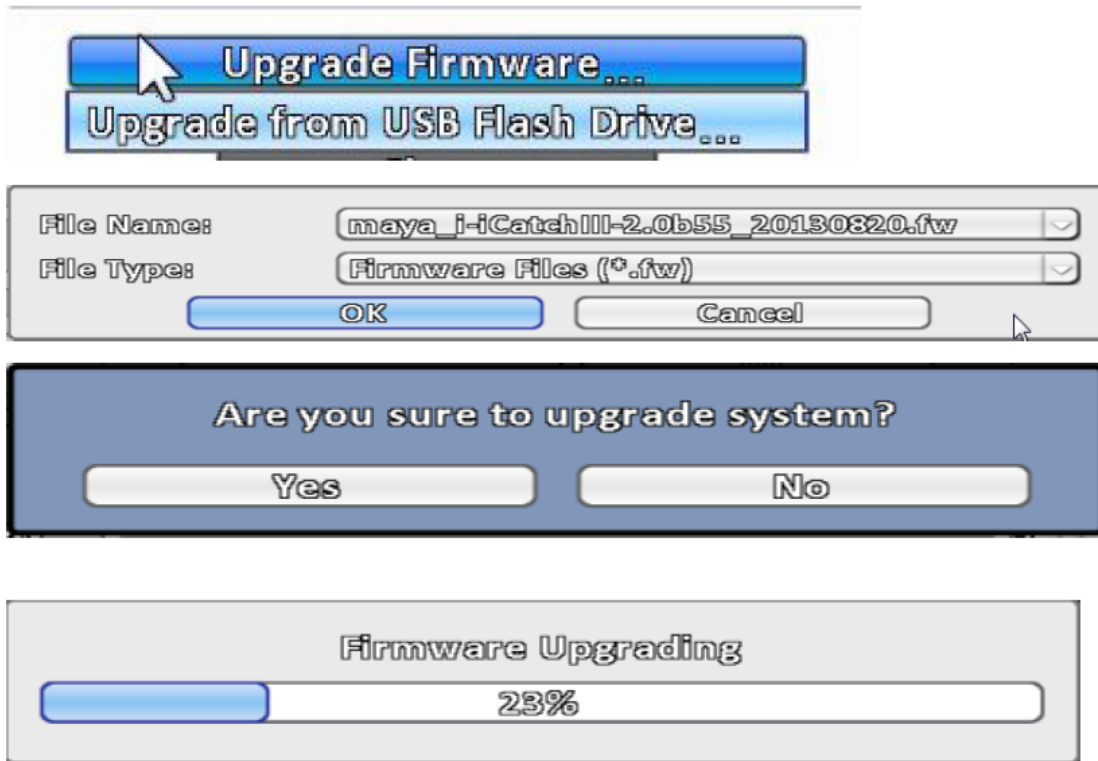


3-7.6.6 ファームウェアアップグレード

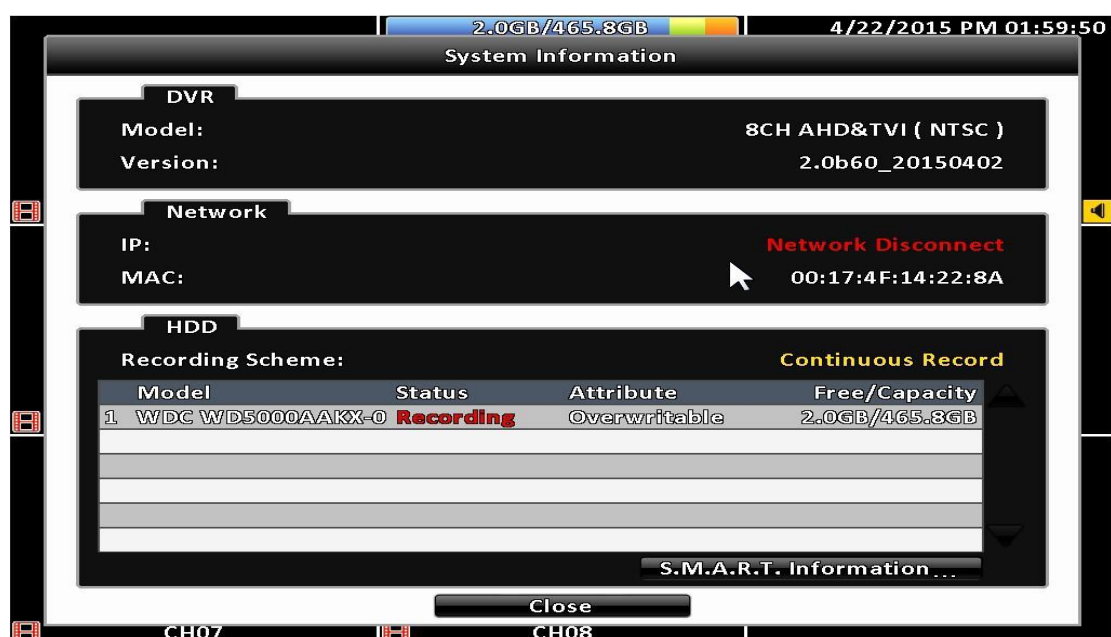
注意！ アップグレード中に電源を切ったり、USB メモリを抜いたりしないでください。

不完全なファームウェアのアップグレードを引き起こし DVR が故障する恐れがあります。

- a. USB メモリからアップグレード:USB メモリからファームウェアを選択しアップグレードします。



3-8 システム情報



3-8.1 DVR の情報

項目	説明
型式	DVR のモデル名と映像の種類
バージョン	DVR のファームウェアバージョン

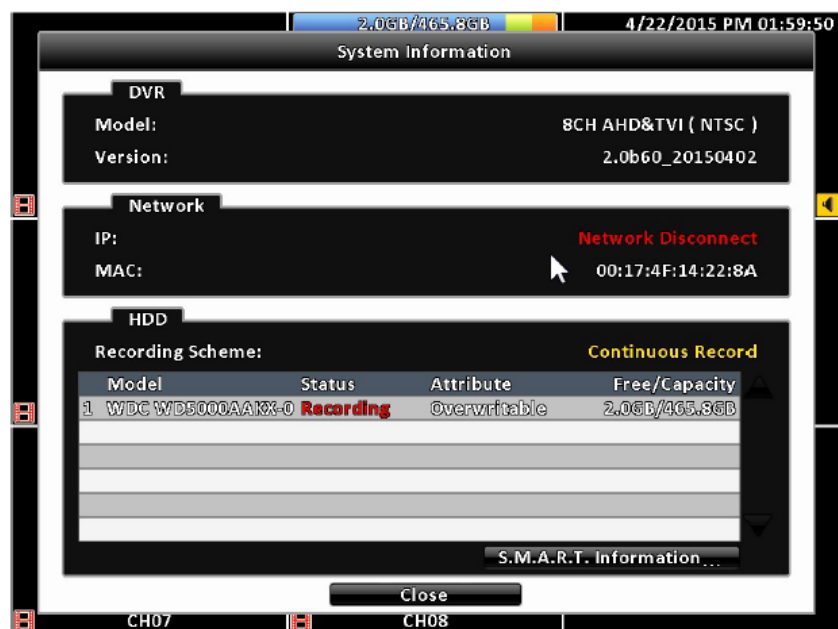
3-8.2 ネットワーク の情報

項目	説明
IP	DVR の IP アドレス ネットワーク接続が存在しない場合、“ネットワーク未接続”と表示されます。
MAC アドレス	DVR の MAC アドレス

3-8.3 HDD の情報

項目	説明
録画タイプ	搭載 HDD の録画タイプ
型式	搭載 HDD のモデル
ステータス	搭載 HDD の録画状態
属性	搭載 HDD の属性(上書き可能/書き込み可能/読み取り専用)
容量	搭載 HDD の容量 (空き容量/全容量)

3-8.4 S.M.A.R.T 情報



ID	Value/Worst/Threshold	Raw
01 Raw Read Error Rate	112 / 99 / 6	44392824
03 Spin Up Time	93 / 91 / 0	0
04 Start/Stop Count	100 / 100 / 20	130
05 Reallocated Sector Count	100 / 100 / 10	0
07 Seek Error Rate	76 / 60 / 30	47808642
09 Power-On Hours Count	100 / 100 / 0	793
0A Spin-up Retry Count	100 / 100 / 97	0
0C Power Cycle Count	100 / 100 / 20	130
B8 Unkown	100 / 100 / 99	0
BB Unkown	100 / 100 / 0	0

Close

ID	Value/Worst/Threshold	Raw
BC Unkown	100 / 100 / 0	0
BD Unkown	1 / 1 / 0	420
BE Unkown	66 / 56 / 45	706674722
BF G-Sense Error Rate	100 / 100 / 0	0
C0 Power-Off Retract Cycle	100 / 100 / 0	130
C1 Load/Unload Cycle Count	100 / 100 / 0	130
C2 HDA Temperature	34 / 44 / 0	98784247842
C5 Current Pending Sector Count	100 / 100 / 0	0
C6 Uncorrectable Count	100 / 100 / 0	0
C7 UltraDMA CRC Error Rate	200 / 200 / 0	0

Close

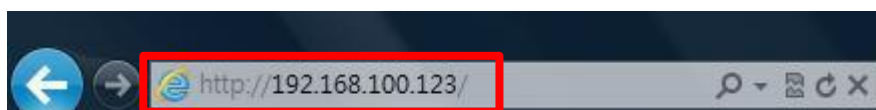
リモートソフトウェアのインストールと設定

DVR は、ユーザーが PC から DVR へ、[iWatchDVR]または、IE v6.0 以上で、リモートでアクセスとコントロールをすることができます。

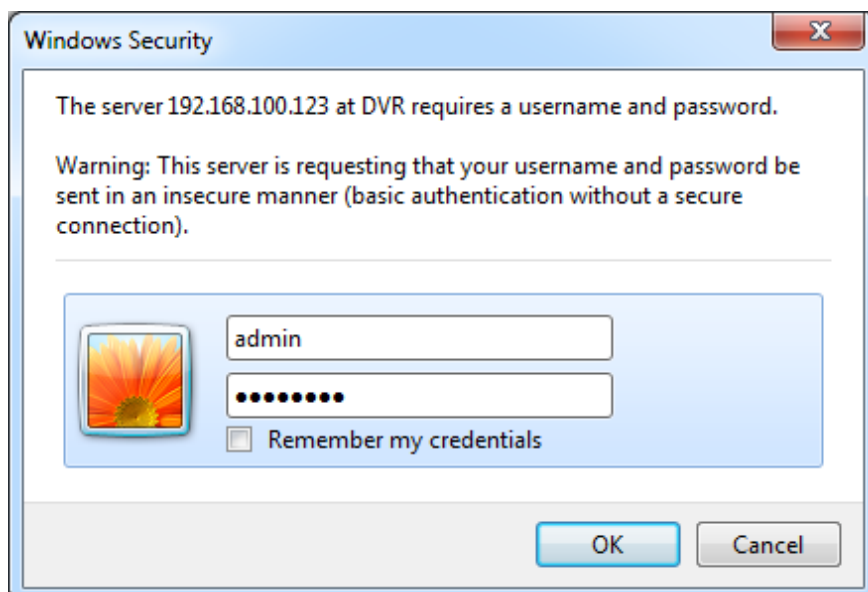
現在 DVR は、Windows XP SP2 以上、Windows Vista、Windows7 をサポートしています。

3-9 アプリケーションソフトウェア接続

Step 1: IE ブラウザで DVR の IP アドレスを入力します。



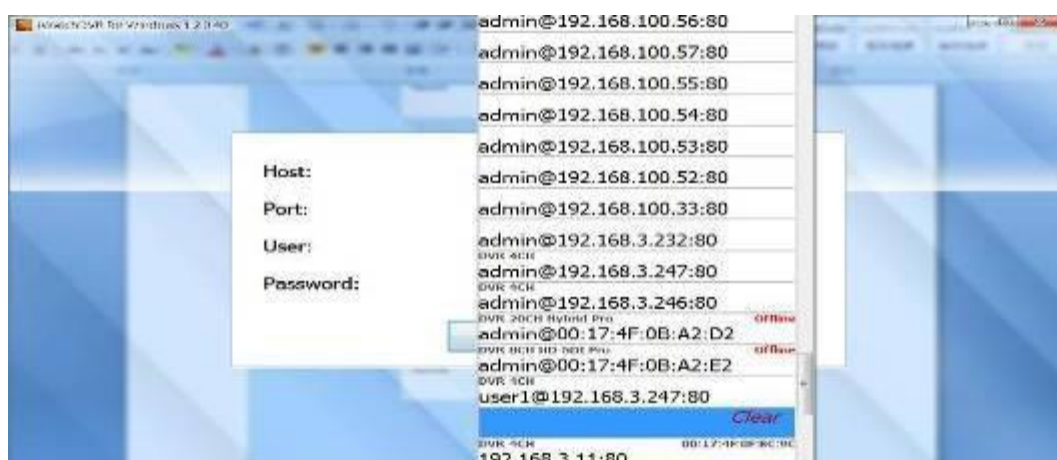
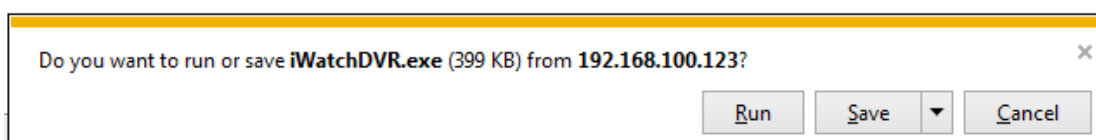
Step 2: Windows では以下のように表示されます。ユーザー名とパスワードを入力します。
デフォルトのユーザー名とパスワードは、admin/123456 です。ユーザーアカウントとパスワードについての関連する他の設定は、“アカウントの設定”のセクションを確認してください。



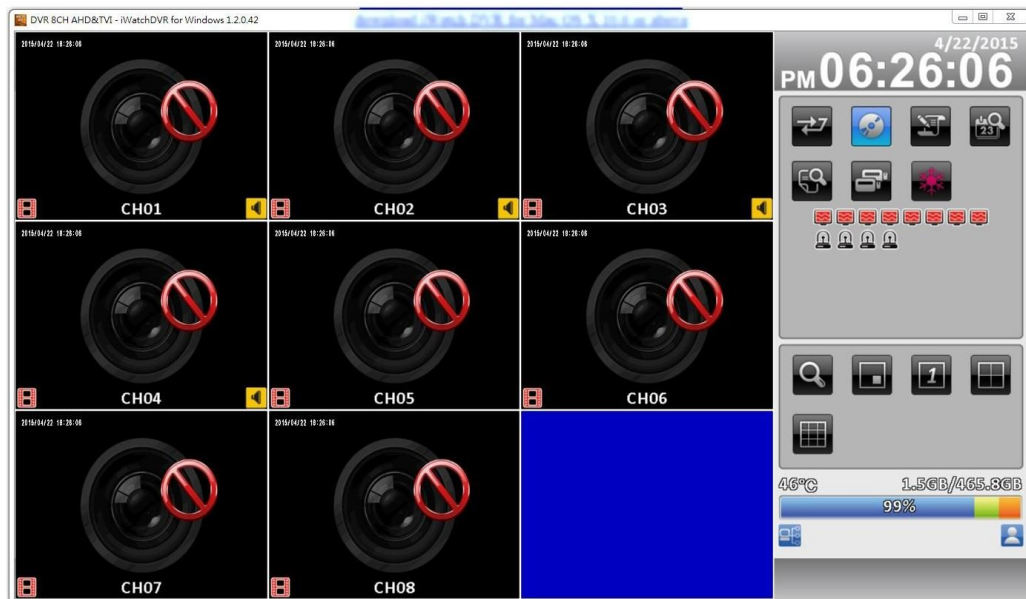
Step 3: アプリケーションソフトウェアのダウンロードを開始するには、
 “iWatchDVR for Windows XP/ Vista の/7”のリンクをクリックします。



Step 4: プログラムを直接実行するか、リモート PC にプログラムを保存し、後で実行することができます。
 ソフトウェアを実行することを選択した場合は、スタートウィンドウが表示されます。DVR
 のログイン情報を入力してください。IP、ポート、ユーザー、パスワード



ドロップダウンメニューは、使用した IP アドレスが記録されます。“Clear”を押して、IP アドレスを消します。
step 5 : DVR にログインします。

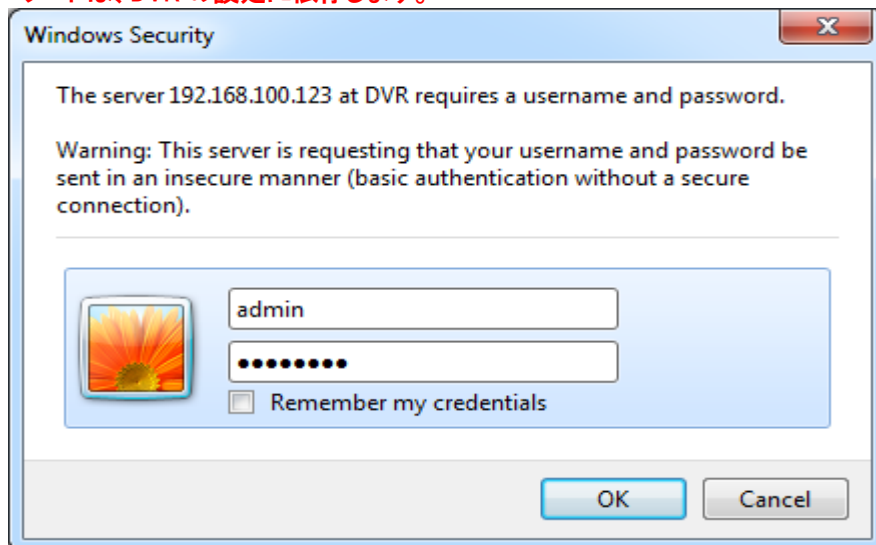


3-10 IE 接続

Step 1: IE ブラウザで DVR の IP アドレスを入力してください。下記の画像はデモンストレーション用のアドレスです。実際のアドレスは、設置環境の DVR の設定に依存します。



Step 2: Windows では、以下のように表示されます。ユーザー名とパスワードを入力してください。デフォルトのユーザー名とパスワードは、admin/123456 です。ユーザーアカウントとパスワードについての関連する他の設定は、“アカウント設定”を参照してください。下記の画像はデモンストレーション用のユーザー名とパスワードです。実際のユーザー名とパスワードは、DVR の設定に依存します。

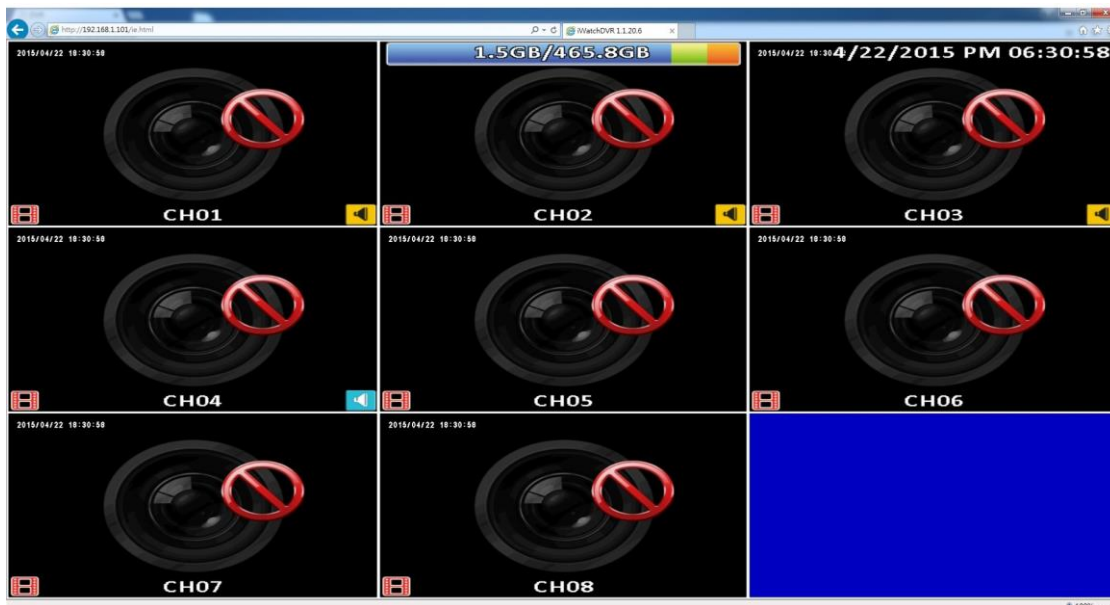


Step 3: “iWatchDVR for Internet Explorer 7/8/9”をクリックします。



初めてこのリンクをクリックする時、IE 接続のセキュリティの問題が生じる事があります。付録の INDEX Ⅲ のリモートモニタリングの IE の ActiveX コントロールのインストール手順のを参照してください。

Step 4 : DVR の画像が表示されます。デフォルトでは 4:3 表示です。



3-11 アプリケーションソフトウェアとIE 接続の操作

Table 4-3.1 システム要件

CPU	Intel Core 2 Due 以上
OS	Microsoft Windows 7、Windows Vista、Windows XP SP2 以上
メモリ	4G 以上
グラフィックボード	DirectX9.0 (以上)に必須対応 Note 1
ウイルス対策ソフト (ファイアウォール)	TCP 宛先ポート 80 番が利用可能であること
その他	DirectX 9.0 以上

Note 1:

現在、DirectX9.0 のをサポートする既知のグラフィックボード

NVIDIA: GeForce FXseries、GeForce 6series、GeForce 7series、GeForce 8series、
GeForce 9series、GeForce 200series
または、下記参照

http://en.wikipedia.org/wiki/Comparison_of_Nvidia_graphics_processing_units

ATI: Radeon R300series、Radeon R400series、Radeon R500series、Radeon R600series、
Radeon R700series、Radeon HD 3xxx IGPseries、Mobility Radeon series (9500
above)、Mobility Radeon X series、Mobility Radeon HD series、FireGL V series
または、下記参照

http://en.wikipedia.org/wiki/Comparison_of_ATI_graphics_processing_units

SiS: SiS 67Xseries、SiS 77Xseries

または、下記参照

http://www.sis.com/support/support_compare.htm

Intel: 91Xseries、94Xseries、96Xseries、G3Xseries、G4Xseries

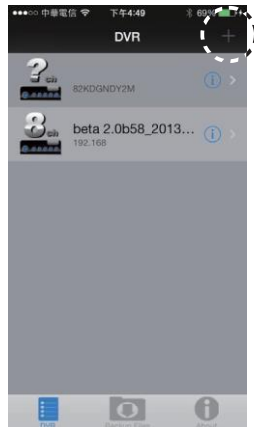
または、下記参照

http://en.wikipedia.org/wiki/Intel_GMA

3-12 モバイルデバイスの接続

設定方法

1. モバイルデバイス(スマートフォンやタブレット)の場合、アプリケーション“iWatch DVR2”でログインしてください。
右上の “+”(iOS)/“New”(Android)アイコンは、新しい接続を追加する場合にタップします。



iOS



Android